

組立・施工説明書

軒天パネル SS ポートGⅢ ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- ・本説明書は「軒天パネル SSポートGⅢ／ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ」の組み立て、施工について説明しています。
本体に同梱の組立・施工説明書をあわせて参照してください。
- ・本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- ・本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書内の表記

警告／注意／お願い

- ・商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表 記	意 味
 警 告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注 意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お 願 い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じられると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表 記	意 味
	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- ・一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。
- ・本説明書は、水下側から作業した図で説明しています。

もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.3
同梱一覧	P.3
全体構成図	P.8
作業前の準備	P.9
本体施工状態の確認	P.9
梁連結カバーの取りはずし（梁の連結がある場合）	P.9
補強材標準仕様の場合	P.10
部材の取り付け	P.11
補強材の取り付け	P.11
見切材の取り付け	P.14
廻り縁（水上側・水下側）の取り付け	P.16
吊金具の取り付け（鼻隠し（間口）の連結がある場合）	P.17
下地材の取り付け	P.18
目板の取り付け	P.19
目板の取り付け（目板（すき間隠し）と鼻隠しの間にすき間が生じる場合）	P.20
梁連結カバーの取り付け（梁の連結がある場合）	P.21
軒天パネルの施工	P.22
軒天材の切断	P.22
廻り縁（側面）の取り付け	P.24
軒天材の取り付け	P.25
カバーの切断	P.27
カバーの取り付け	P.28
鼻隠しの取り付け（鼻隠しの取りはずしをした場合）	P.29

安全にお取り扱いいただくために

⚠ 注意

- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでください。
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、必ず同梱のねじを使用してください。
異なるねじを使用すると、ねじの折れ、強度低下、ゆるみなどにより、部材の落下や漏水など思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、ねじをまっすぐに最後まで締め付けてください。
締め付け不良は部材の落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形およびキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。
破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。
漏水につながるおそれがあります。

お願い

- 清掃が必要な場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使用してください。
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。
表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全帯、目・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 商品の保管は、必ず室内でしてください。
やむを得ず屋外に置く場合は、湿気の無い日陰で平らな場所に平置きにして、防水シートをかけてください。
- 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。

作業前の確認

同梱一覧

■軒天材

姿 図	
品 名	軒天パネル
品 番	7K-13319
MCD-(DS)QF-A##-08V-##	8
MCD-(DS)QF-A##-12V-##	12

■補強材

姿 図	
品 名	補強材
品 番	K-98608
MCD-(DS)QF-B#####-3V2	3
MCD-(DS)QF-B#####-4V2	4
MCD-(DS)QF-B#####-5V2	5
備 考	軒天地下地材 取り付け用

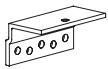
■下地材

姿 図	
品 名	下地材
品 番	3K-85597
MCD-(DS)QF-D##-08V	8
MCD-(DS)QF-D##-10V	10
MCD-(DS)QF-D##-13V	13

■軒天パネル廻り縁

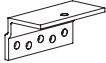
姿 図						
品 名	見切材	廻り縁	廻り縁	目板	廻り縁	カバー
品 番	3K-73186	3K-73187	3K-73188	3K-73191	3K-73189	3K-73190
MCD-(DS)QF-C####-4V	4	1	1	3	6	6
MCD-(DS)QF-C##80-4V	8	2	2	3	6	6
MCD-(DS)QF-C####-6V	6	1	1	3	8	8
MCD-(DS)QF-C####-8V	8	1	1	3	10	10
MCD-(DS)QF-C##80-8V	16	2	2	3	10	10
MCD-(DS)QF-CJ#####-4V	8	1	1	3	10	10
MCD-(DS)QF-CJ#####-6V	12	1	1	3	14	14
MCD-(DS)QF-CJ#####-8V	16	1	1	3	18	18
MCD-(DS)QF-CE#####-4V	8	2	2	6	6	6
MCD-(DS)QF-CE#####-6V	12	2	2	6	8	8
MCD-(DS)QF-CE#####-8V	16	2	2	6	10	10
備 考	梁用	水上側用	水下側用	—	側面用	側面用

■部品箱（単体）

姿 図						
品 名	補強材ブラケット	吊金具	吊金具	トラスタッピンねじ (φ5×16)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	なべドリルねじ (φ4×16)
品 番	7K-13320	7K-14022	7K-10864	ET-5016	ET-5010	DN-4016
MCD-(DS)QF-E30-4V	6	—	—	7	—	18
MCD-(DS)QF-E36-4V	8	—	—	7	—	24
MCD-(DS)QF-E55-4V	10	—	—	9	—	30
MCD-(DS)QF-E60-4V	12	—	—	9	—	36
MCD-(DS)QF-E80-4V2	16	1	1	10	2	48
MCD-(DS)QF-E30-6V	9	—	—	7	—	27
MCD-(DS)QF-E36-6V	12	—	—	7	—	36
MCD-(DS)QF-E55-6V	15	—	—	9	—	45
MCD-(DS)QF-E60-6V	18	—	—	9	—	54
MCD-(DS)QF-E30-8V	12	—	—	7	—	36
MCD-(DS)QF-E36-8V	16	—	—	7	—	48
MCD-(DS)QF-E55-8V	20	—	—	9	—	60
MCD-(DS)QF-E60-8V	24	—	—	9	—	72
MCD-(DS)QF-E80-8V2	32	1	1	10	2	96
備 考	—	水上側 145見付用	水上側 190見付用	目板取り付け用	吊金具 取り付け用	補強材ブラケット 取り付け用

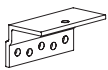
姿 図							—
品 名	なべドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16)	薄バインド ドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16) (コーティング剤塗布)	セッティング ブロック	組立・施工 説明書
品 番	DN-4016	DN-4016	DN-4016	4K-16374	DN-4016B-SC	K-28946	—
MCD-(DS)QF-E30-4V	40	40	12	6	168	6	1
MCD-(DS)QF-E36-4V	48	48	16	6	200	6	1
MCD-(DS)QF-E55-4V	72	56	20	6	296	6	1
MCD-(DS)QF-E60-4V	80	64	24	6	328	6	1
MCD-(DS)QF-E80-4V2	104	80	32	6	424	6	1
MCD-(DS)QF-E30-6V	60	50	12	8	210	8	1
MCD-(DS)QF-E36-6V	72	60	16	8	250	8	1
MCD-(DS)QF-E55-6V	108	70	20	8	370	8	1
MCD-(DS)QF-E60-6V	120	80	24	8	410	8	1
MCD-(DS)QF-E30-8V	80	65	12	10	273	10	1
MCD-(DS)QF-E36-8V	96	78	16	10	325	10	1
MCD-(DS)QF-E55-8V	144	91	20	10	481	10	1
MCD-(DS)QF-E60-8V	160	104	24	10	533	10	1
MCD-(DS)QF-E80-8V2	208	130	32	10	689	10	1
備 考	見切材 取り付け用	下地材・廻り縁 取り付け用	廻り縁 (水上・水下) 取り付け用	落下防止用	軒天材 取り付け用	—	—

■部品箱（奥行連結）

姿 図						
品 名	補強材ブラケット	補強材連結金具	トラスタッピンねじ (φ5×16)	なべドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16)
品 番	7K-13320	6K-13955	ET-5016	DN-4016	DN-4016	DN-4016
MCD-(DS)QF-EJ30-4V	12	3	7	6	36	80
MCD-(DS)QF-EJ36-4V	16	4	7	8	48	96
MCD-(DS)QF-EJ55-4V	20	5	9	10	60	144
MCD-(DS)QF-EJ60-4V	24	6	9	12	72	160
MCD-(DS)QF-EJ30-6V	18	3	7	6	54	120
MCD-(DS)QF-EJ36-6V	24	4	7	8	72	144
MCD-(DS)QF-EJ55-6V	30	5	9	10	90	216
MCD-(DS)QF-EJ60-6V	36	6	9	12	108	240
MCD-(DS)QF-EJ30-8V	24	3	7	6	72	160
MCD-(DS)QF-EJ36-8V	32	4	7	8	96	192
MCD-(DS)QF-EJ55-8V	40	5	9	10	120	288
MCD-(DS)QF-EJ60-8V	48	6	9	12	144	320
備 考	—	—	目板取り付け用	補強材連結部品 取り付け用	補強材ブラケット 取り付け用	見切材 取り付け用

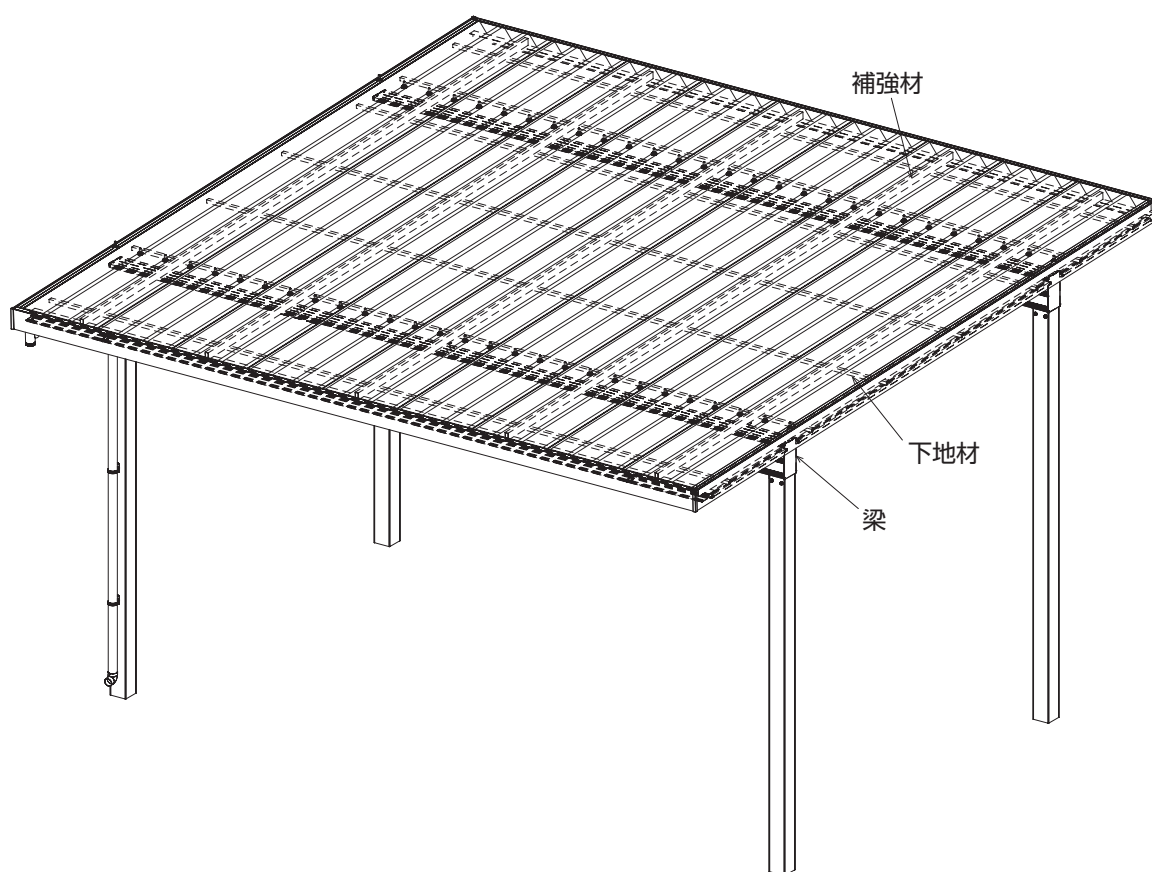
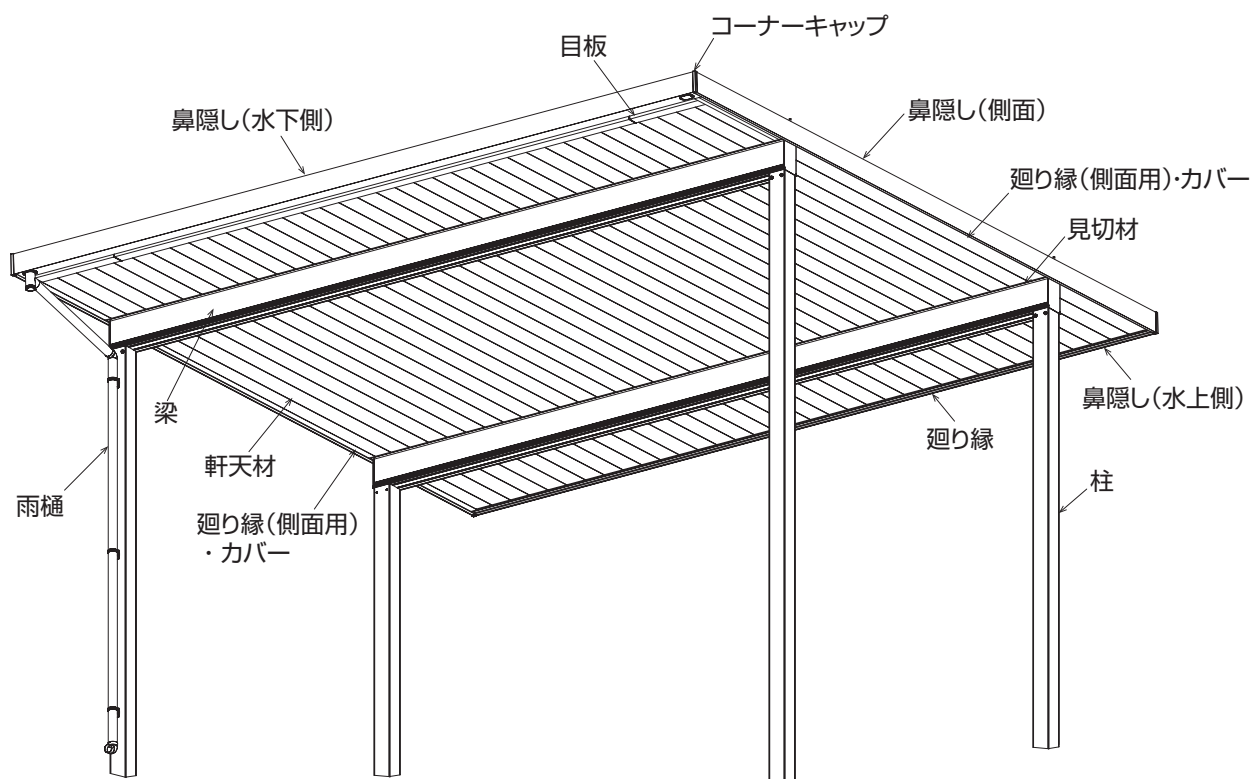
姿 図						—
品 名	なべドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16)	薄バインド ドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16) (コーティング剤塗布)	セッティング ブロック	組立・施工 説明書
品 番	DN-4016	DN-4016	4K-16374	DN-4016B-SC	K-28946	—
MCD-(DS)QF-EJ30-4V	80	12	10	336	10	1
MCD-(DS)QF-EJ36-4V	96	16	10	400	10	1
MCD-(DS)QF-EJ55-4V	112	20	10	592	10	1
MCD-(DS)QF-EJ60-4V	128	24	10	656	10	1
MCD-(DS)QF-EJ30-6V	100	12	14	420	14	1
MCD-(DS)QF-EJ36-6V	120	16	14	500	14	1
MCD-(DS)QF-EJ55-6V	140	20	14	740	14	1
MCD-(DS)QF-EJ60-6V	160	24	14	820	14	1
MCD-(DS)QF-EJ30-8V	130	12	18	546	18	1
MCD-(DS)QF-EJ36-8V	156	16	18	650	18	1
MCD-(DS)QF-EJ55-8V	182	20	18	962	18	1
MCD-(DS)QF-EJ60-8V	208	24	18	1066	18	1
備 考	下地材・廻り縁 取り付け用	廻り縁(水上・水下) 取り付け用	カバー 取り付け用	軒天材 取り付け用	—	—

■部品箱（間口延長／間口連結）

姿 図						
品 名	補強材ブラケット	吊金具	吊金具	トラスタッピンねじ (φ5×16)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	なべドリルねじ (φ4×16)
品 番	7K-13320	7K-14022	7K-10864	ET-5016	ET-5010	DN-4016
MCD-(DS)QF-EE5518-4V2	14	1	1	15	2	42
MCD-(DS)QF-EE6018-4V2	16	1	1	15	2	48
MCD-(DS)QF-EE5530-4V2	16	1	1	16	2	48
MCD-(DS)QF-EE6030-4V2	18	1	1	16	2	54
MCD-(DS)QF-EE5555-4V2	20	1	1	18	2	60
MCD-(DS)QF-EE5560-4V2	22	1	1	18	2	66
MCD-(DS)QF-EE6060-4V2	24	1	1	18	2	72
MCD-(DS)QF-EE5518-6V2	21	1	1	15	2	63
MCD-(DS)QF-EE6018-6V2	24	1	1	15	2	72
MCD-(DS)QF-EE5530-6V2	24	1	1	16	2	72
MCD-(DS)QF-EE6030-6V2	27	1	1	16	2	81
MCD-(DS)QF-EE5555-6V2	30	1	1	18	2	90
MCD-(DS)QF-EE5560-6V2	33	1	1	18	2	99
MCD-(DS)QF-EE6060-6V2	36	1	1	18	2	108
MCD-(DS)QF-EE5518-8V2	28	1	1	15	2	84
MCD-(DS)QF-EE6018-8V2	32	1	1	15	2	96
MCD-(DS)QF-EE5530-8V2	32	1	1	16	2	96
MCD-(DS)QF-EE6030-8V2	36	1	1	16	2	108
MCD-(DS)QF-EE5555-8V2	40	1	1	18	2	120
MCD-(DS)QF-EE5560-8V2	44	1	1	18	2	132
MCD-(DS)QF-EE6060-8V2	48	1	1	18	2	144
備 考	—	水上側 145見付用	水上側 190見付用	目板取り付け用	吊金具 取り付け用	補強材ブラケット 取り付け用

姿 図							—
品 名	なべドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16)	薄バインド ドリルねじ (φ4×16)	なべドリルねじ (φ4×16) (コーティング剤塗布)	セッティング ブロック	組立・施工 説明書
品 番	DN-4016	DN-4016	DN-4016	4K-16374	DN-4016B-SC	K-28946	—
MCD-(DS)QF-EE5518-4V2	96	72	28	6	392	6	1
MCD-(DS)QF-EE6018-4V2	104	80	32	6	424	6	1
MCD-(DS)QF-EE5530-4V2	112	80	32	6	456	6	1
MCD-(DS)QF-EE6030-4V2	120	88	36	6	488	6	1
MCD-(DS)QF-EE5555-4V2	144	96	40	6	584	6	1
MCD-(DS)QF-EE5560-4V2	152	104	44	6	616	6	1
MCD-(DS)QF-EE6060-4V2	160	112	48	6	648	6	1
MCD-(DS)QF-EE5518-6V2	144	90	28	8	490	8	1
MCD-(DS)QF-EE6018-6V2	156	100	32	8	530	8	1
MCD-(DS)QF-EE5530-6V2	168	100	32	8	570	8	1
MCD-(DS)QF-EE6030-6V2	180	110	36	8	610	8	1
MCD-(DS)QF-EE5555-6V2	216	120	40	8	730	8	1
MCD-(DS)QF-EE5560-6V2	228	130	44	8	770	8	1
MCD-(DS)QF-EE6060-6V2	240	140	48	8	810	8	1
MCD-(DS)QF-EE5518-8V2	192	117	28	10	637	10	1
MCD-(DS)QF-EE6018-8V2	208	130	32	10	689	10	1
MCD-(DS)QF-EE5530-8V2	224	130	32	10	741	10	1
MCD-(DS)QF-EE6030-8V2	240	143	36	10	793	10	1
MCD-(DS)QF-EE5555-8V2	288	156	40	10	949	10	1
MCD-(DS)QF-EE5560-8V2	304	169	44	10	1001	10	1
MCD-(DS)QF-EE6060-8V2	320	182	48	10	1053	10	1
備 考	見切材 取り付け用	下地材・廻り 縁取り付け用	廻り縁(水上・水 下)取り付け用	落下防止用	軒天材 取り付け用	—	—

全体構成図

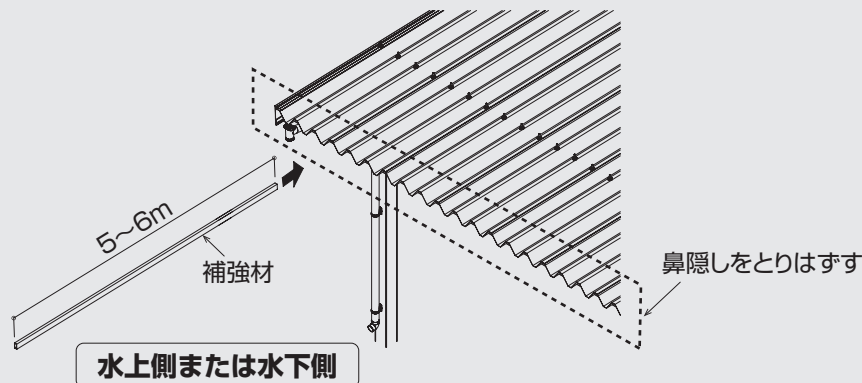


作業前の準備

本体施工状態の確認



- 鼻隠しを取りついていない状態で、水上側または水下側から挿入します。



・ サイドパネルが取り付けられている場合

サイドパネルをはずしてから施工してください。

- 1 折板が梁に取り付けてあることを確認してください。



・ カーポート本体と同時施工の場合

本体に同梱の説明書を参照してください。

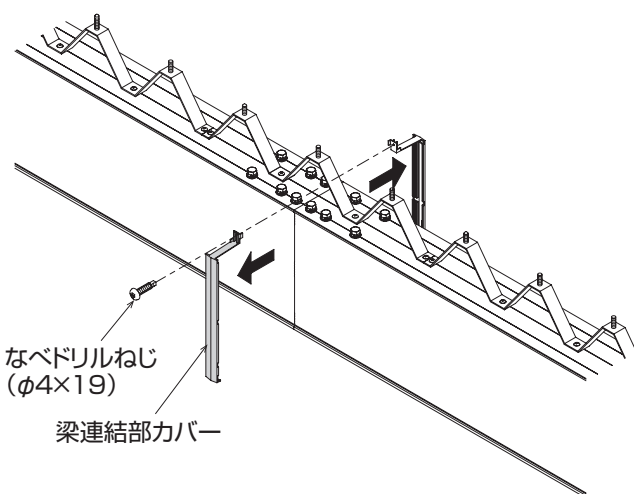
梁連結力バーの取りはずし（梁の連結がある場合）



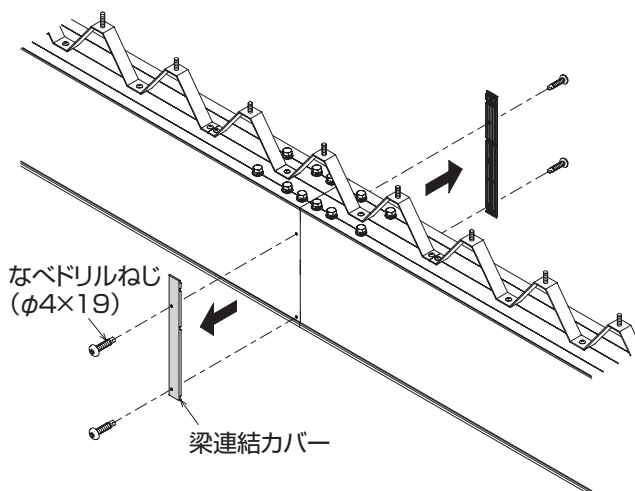
- ・ 梁連結力バーは再利用しますので、紛失しないようにしてください。

- 1 梁から梁連結力バーを取りはずしてください。

- SSポートGⅢ／ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ
2022年仕様



- SSポートGⅢ／ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ
2025年仕様



補強材標準仕様の場合



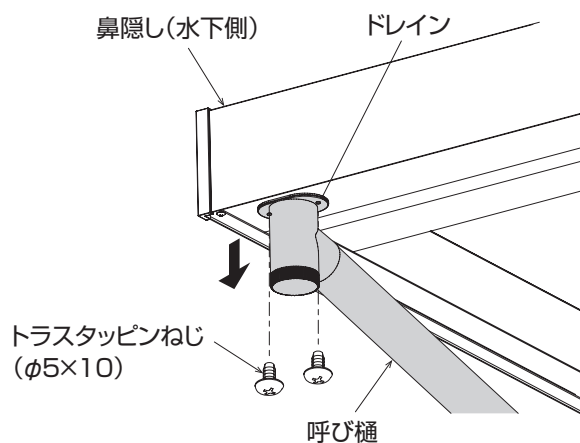
- ねじなどの部品は再利用しますので、紛失しないようにしてください。

1 水下側から作業する場合

呼び樋が変形しないように支えながら、ドレインをはずしてください。



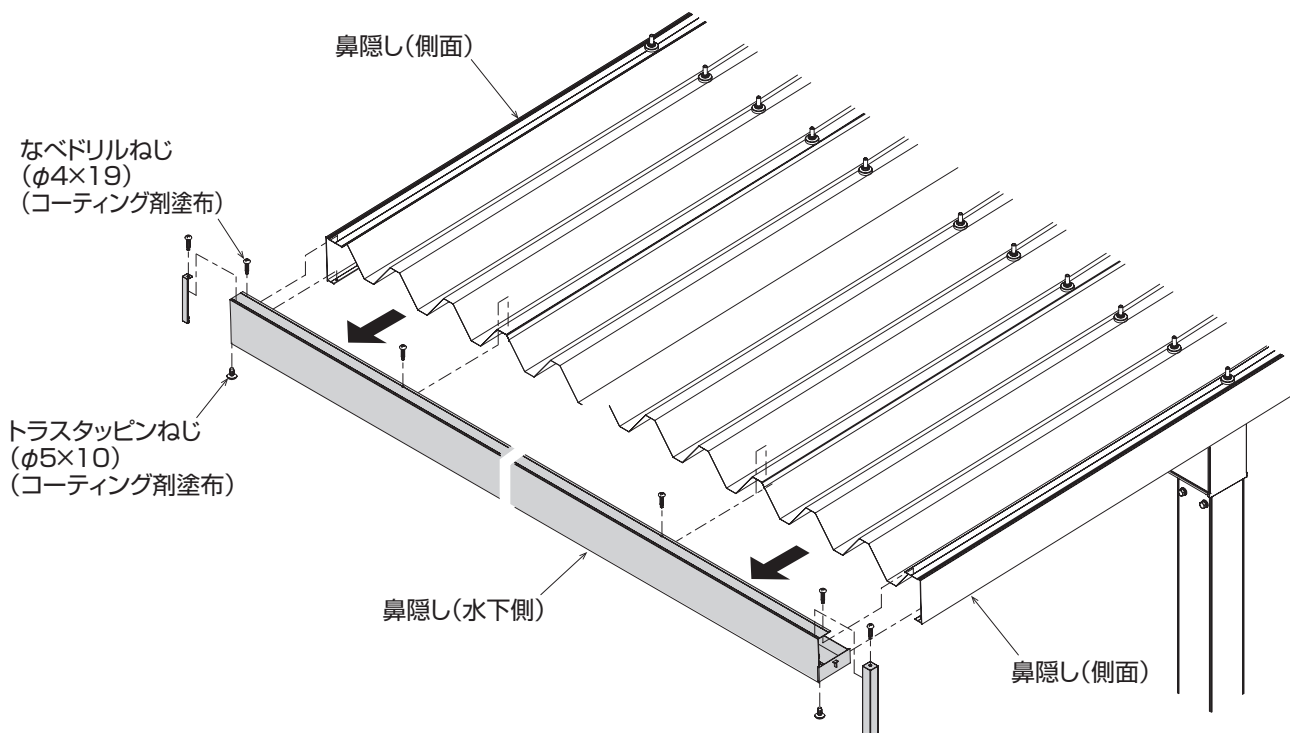
- ドレインを取りはずした後は、呼び樋を添え木などで支えてください。
呼び樋が変形するおそれがあります。



2 作業側の鼻隠しのねじをはずし、鼻隠しとコーナーキャップを取りはずしてください。



- 鼻隠しは再利用しますので、キズがつかないように保管してください。
- コーナーキャップが破損した場合は、補修部品を手配して交換してください。



部材の取り付け

補強材の取り付け

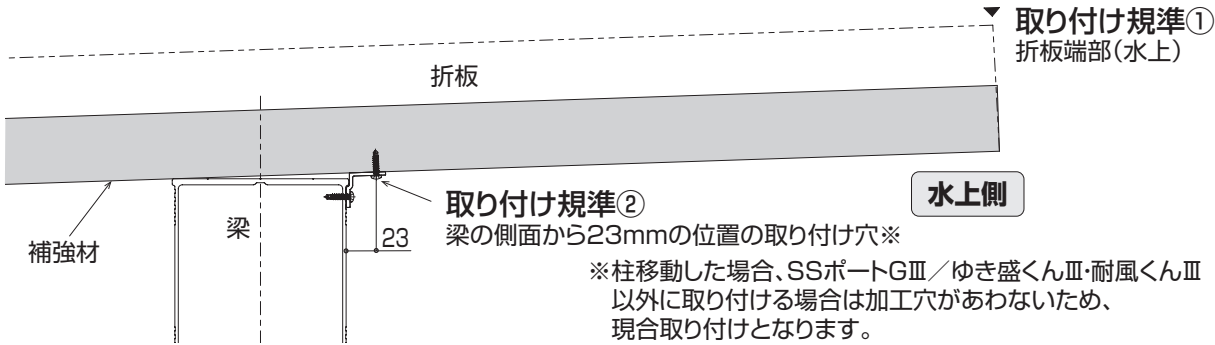
1 補強材の取り付け位置を確認してください。

間口方向の補強材取り付け位置

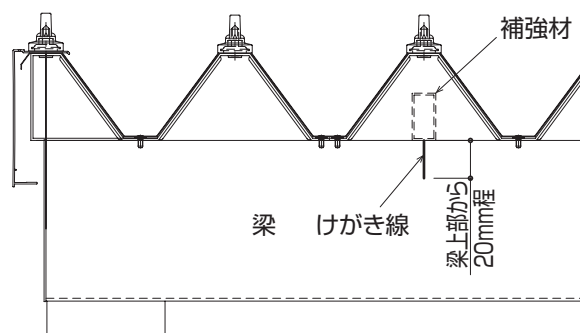
間口 呼称D	梁長さ	道路側（水下側）から見た補強材取り付け位置
30	3000	左側 右側
36	3600	
48	4800	
55	5400	
60	6000	
80	7800	

・間口延長・間口連結の場合は、単体部分の挿入位置を参考に梁連結部より左右に配置してください。

奥行方向の補強材取り付け位置

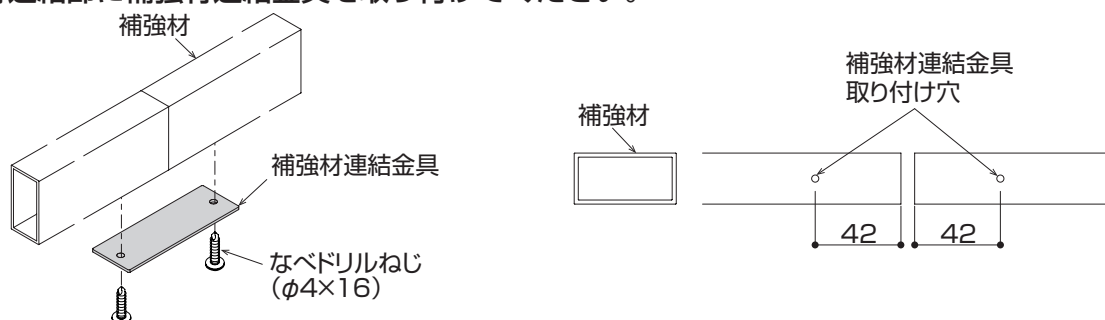


2 補強材取り付け位置を梁にけがいてください。



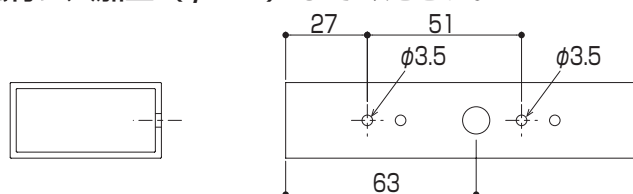
3 奥行連結の場合

奥行連結部に補強材連結金具を取り付けてください。



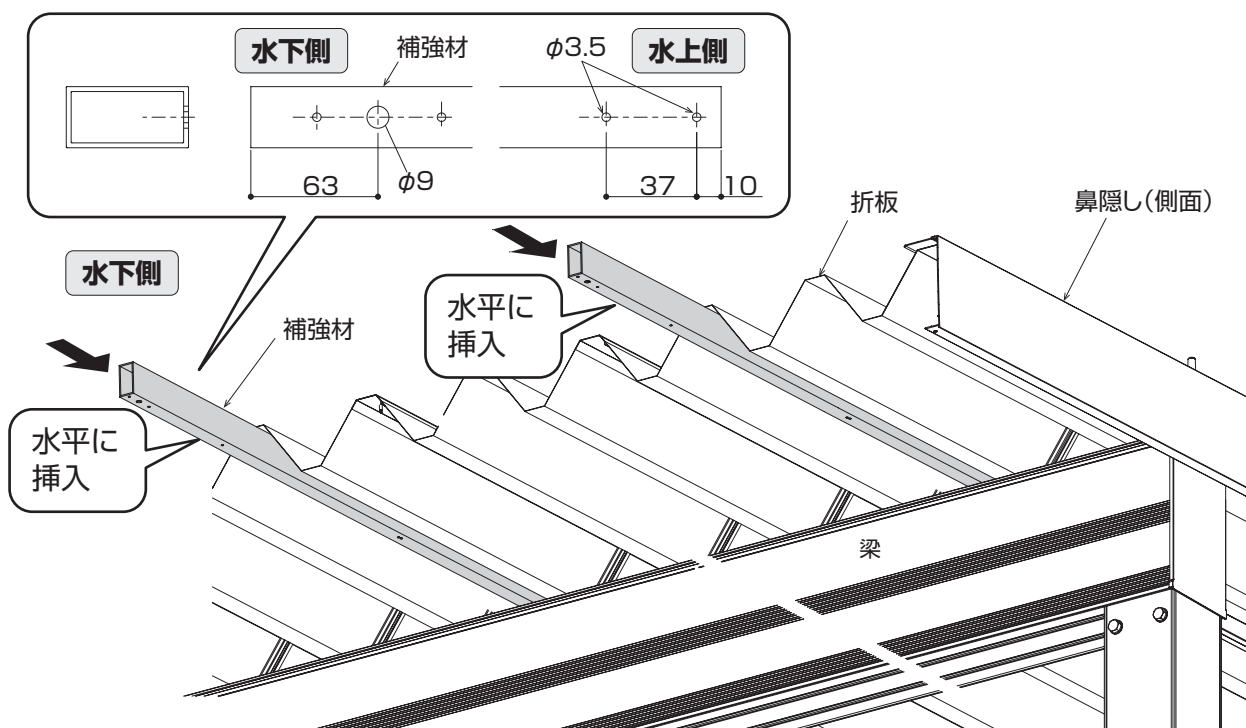
4 鼻隠し190見付の場合

補強材に穴加工 (φ3.5) してください。



5 補強材の加工面を下にして梁と折板の間に挿入してください。

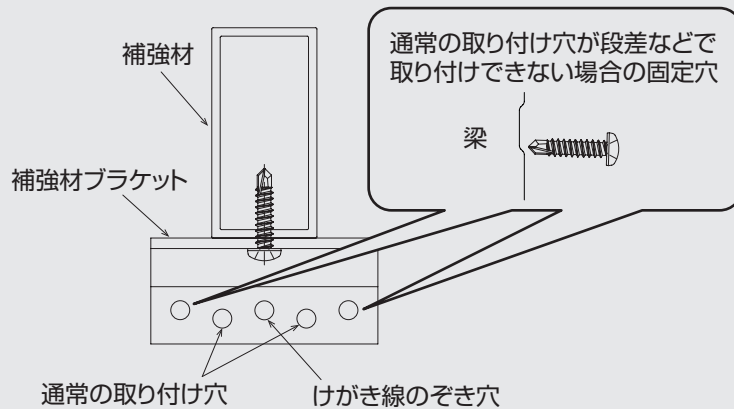
- 図は水下側から作業する場合を示しています。



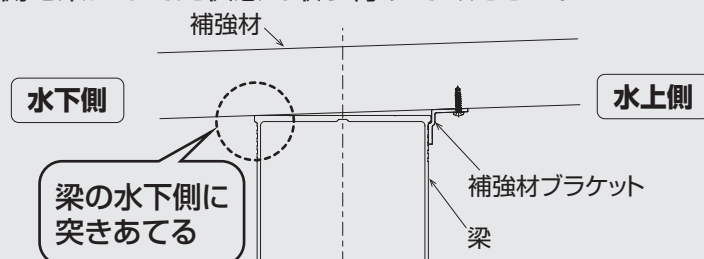
6 補強材ブラケットを梁の水上側に配置し、補強材に取り付けてください。



- 補強材ブラケットの取り付け穴を確認してください。



- 補強材は、水下側を梁にあてた状態で取り付けてください。



柱移動しない場合

- 補強材ブラケットを補強材の加工穴にねじ留めしてください。

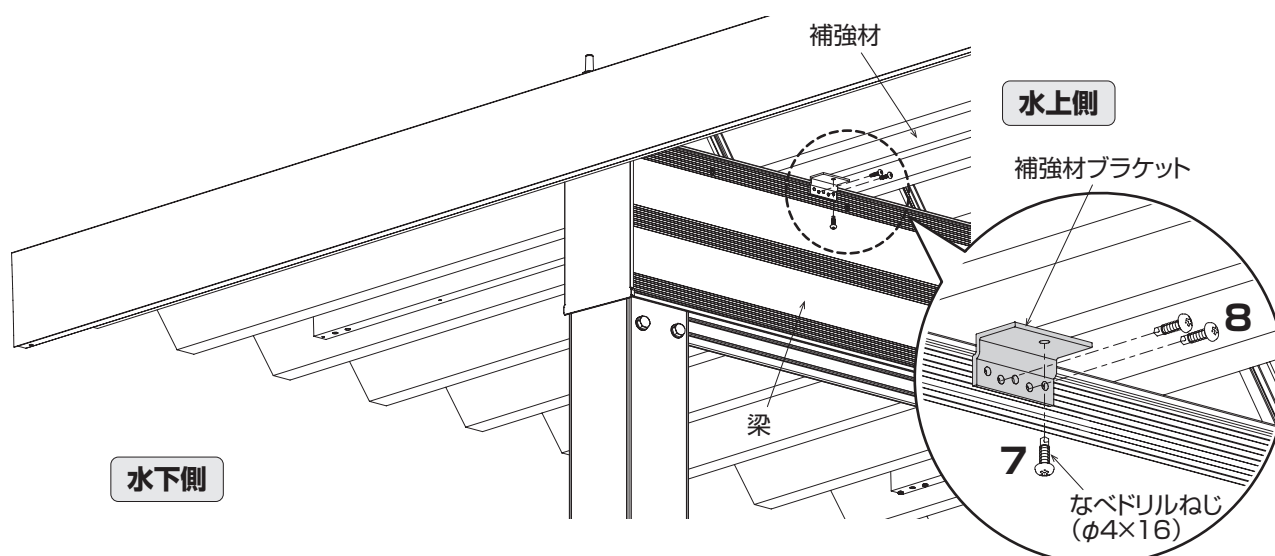
柱移動した場合、SSポートGⅢ／ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ以外の場合

- 補強材ブラケットを補強材に現合でねじ留めしてください。

7 補強材ブラケットを梁に取り付けてください。



- 下地材を補強材に2本以上仮固定すると、補強材のピッチ・対角が出やすくなります。
「下地材の取り付け (→P.18) 参照」



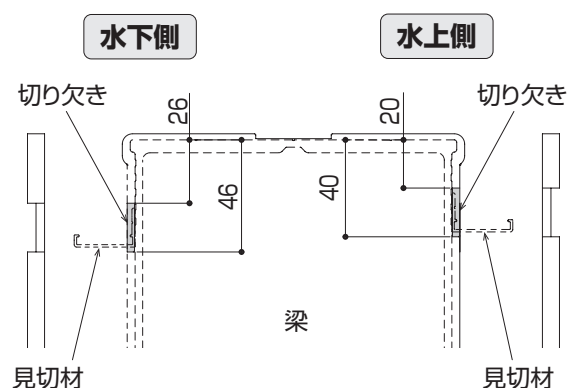
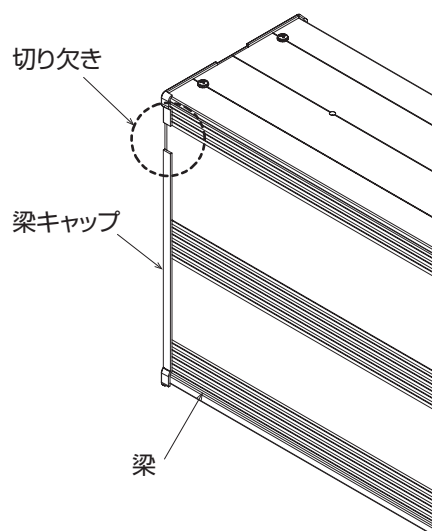
見切材の取り付け

1 梁キャップが見切材と干渉する場合

梁キャップの干渉部を切り欠いてください。

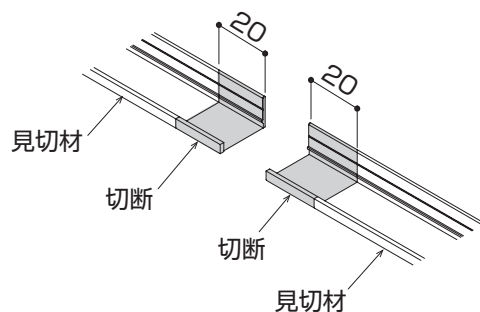


・梁キャップサイズに関わらず加工は同じです。



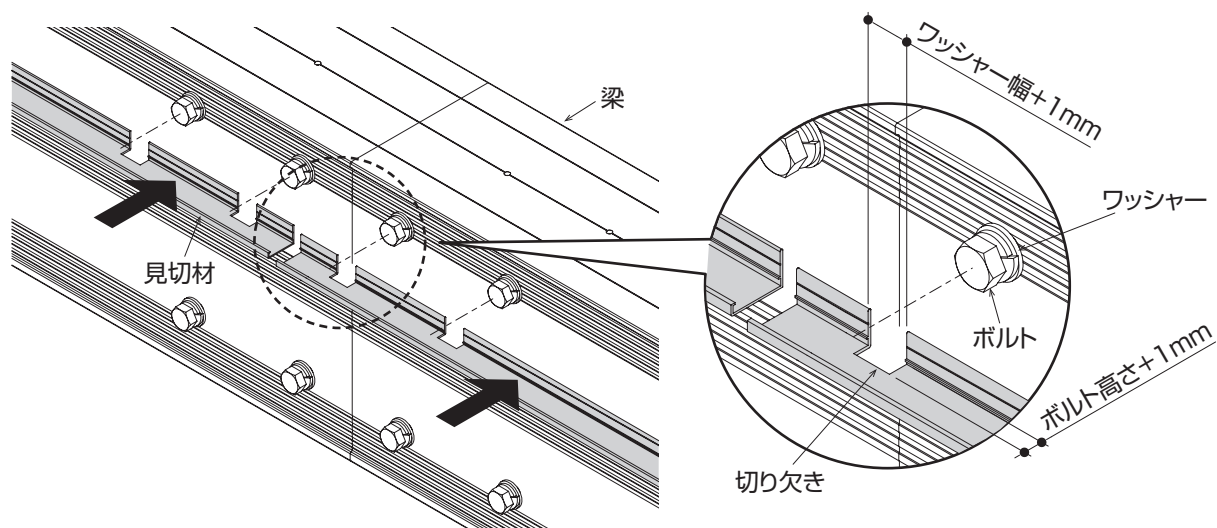
2 梁の連結がある場合

① 見切材の連結部を20mm切断してください。

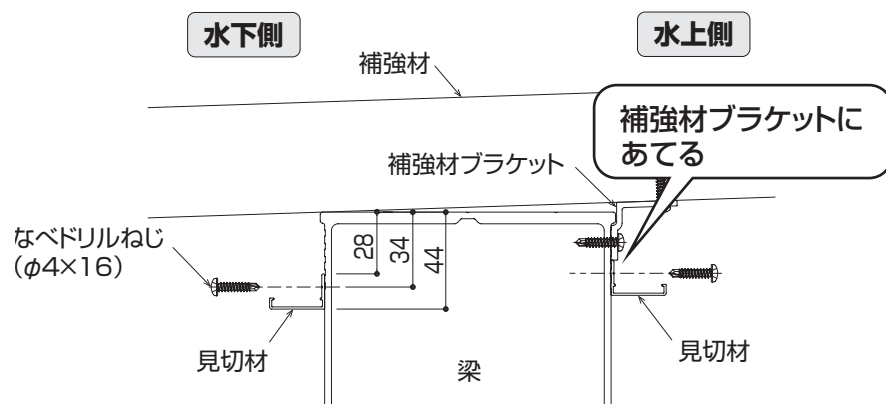


② 梁連結用ボルトと見切材が干渉する場合

見切材のボルト干渉部を切り欠いてください。

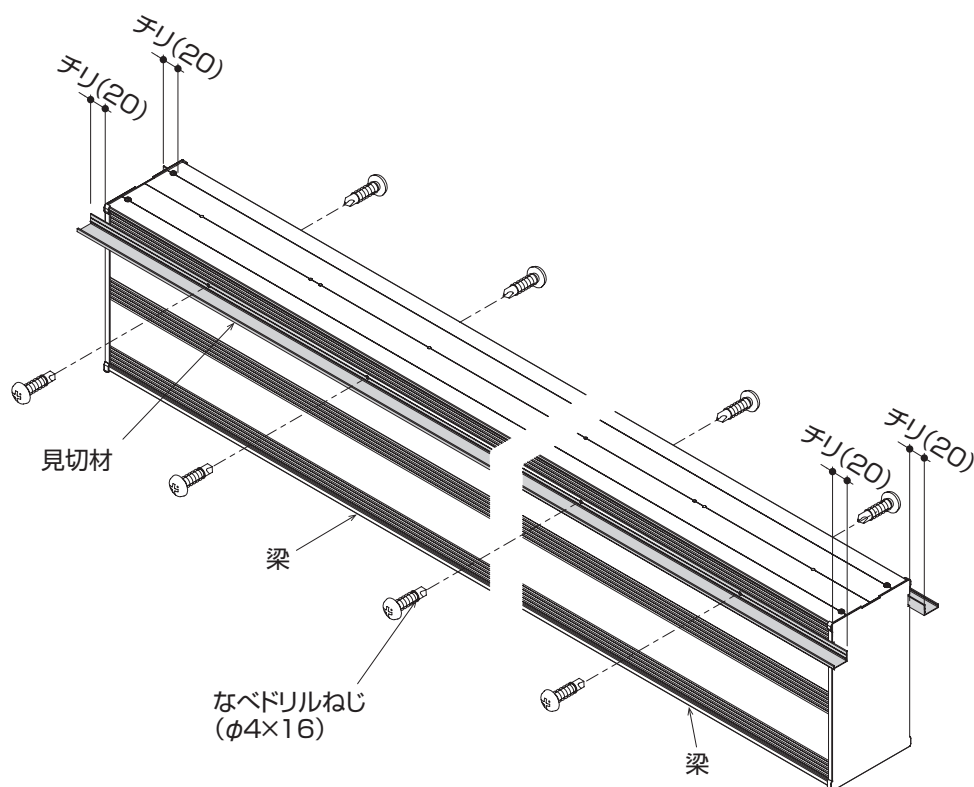


3 見切材を梁に取り付けてください。



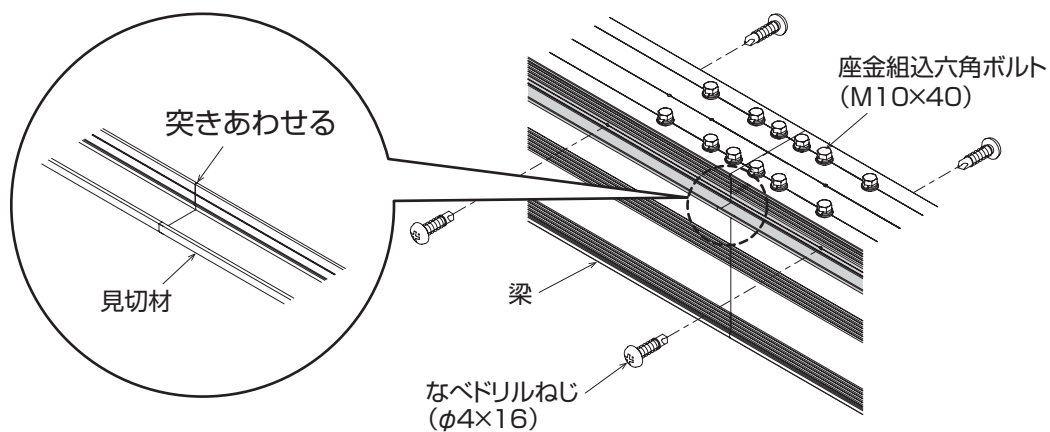
梁の連結がない場合

- ① 左右のチリをあわせて、見切材を梁に取り付けてください。



梁の連結がある場合

- ① 梁の連結部で見切材を突きあわせ、梁に取り付けてください。



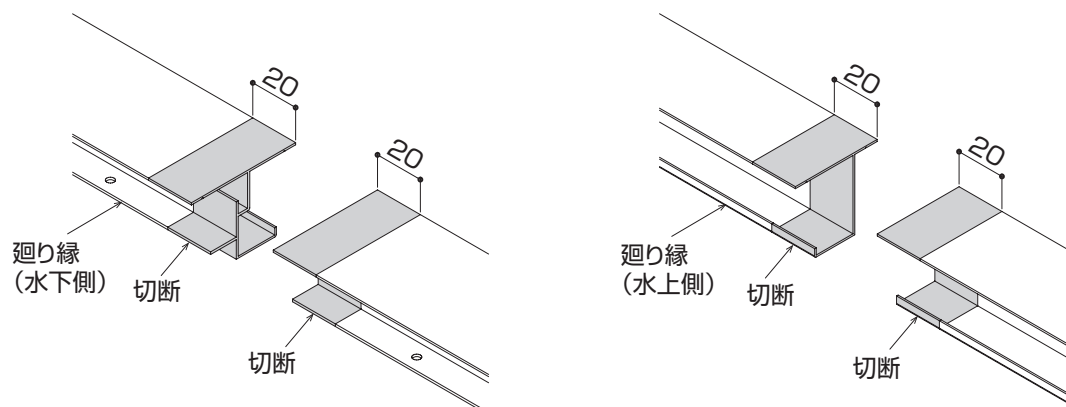
廻り縁（水上側・水下側）の取り付け



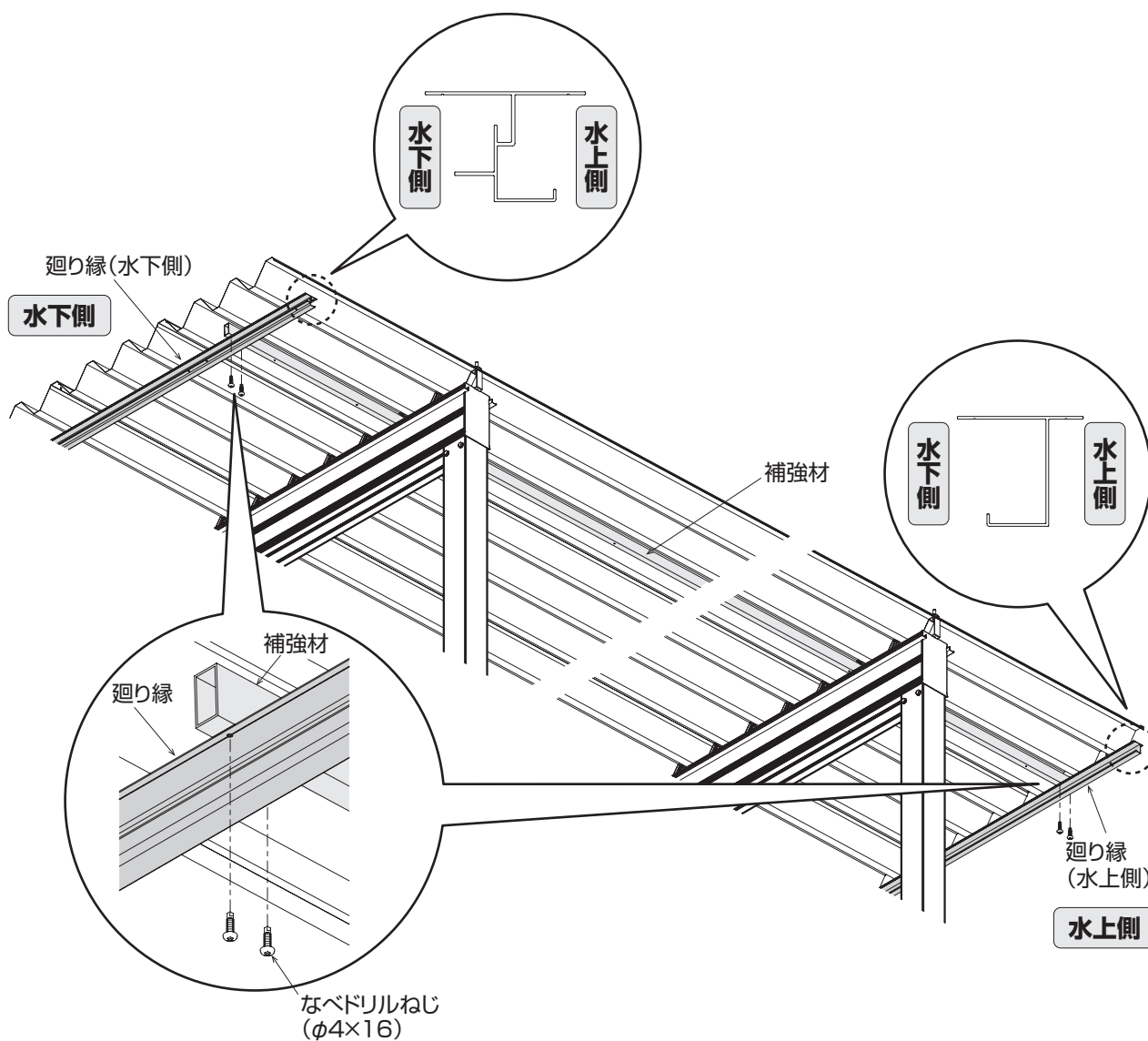
• 廻り縁は、水上側・水下側で断面が異なります。

1 基本セット（3台用）以外で梁の連結がある場合

廻り縁の連結部を20mm切断してください。



2 補強材端部の穴加工にあわせて、廻り縁を補強材に取り付けてください。



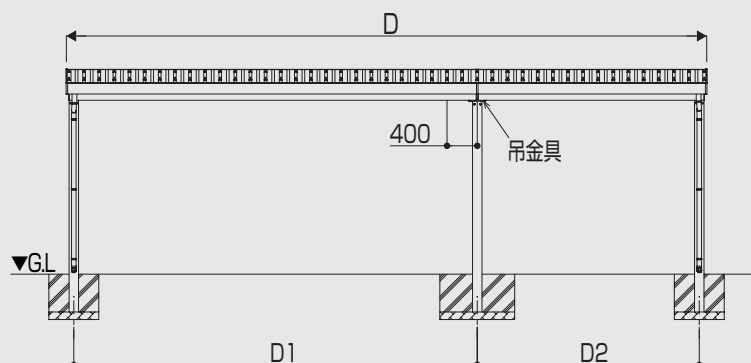
吊金具の取り付け（鼻隠し（間口）の連結がある場合）

1 吊金具を補強材に廻り縁（水上用）と共締めして取り付けてください。

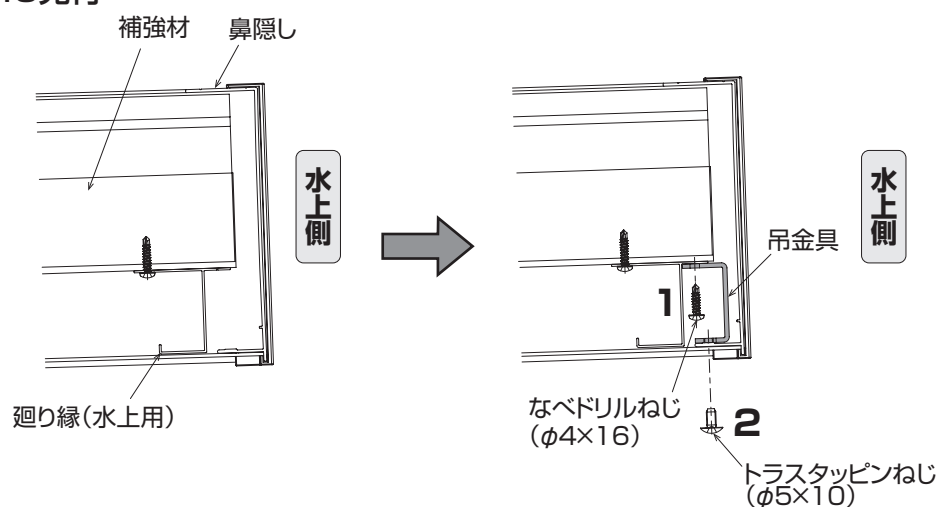
2 吊金具を鼻隠し（水上側）に固定してください。



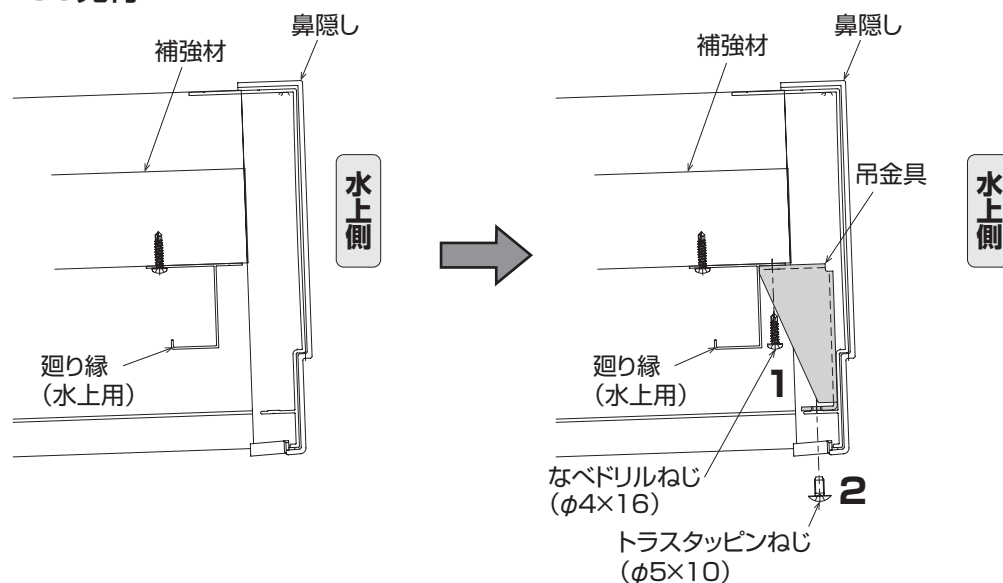
- 本体に同梱の鼻隠し補強部品（水上側）は使用しません。
- 吊金具は、間口が大きい側の補強材に取り付けてください。
間口が同じ場合は、任意の間口に取り付けてください。



●鼻隠し145見付



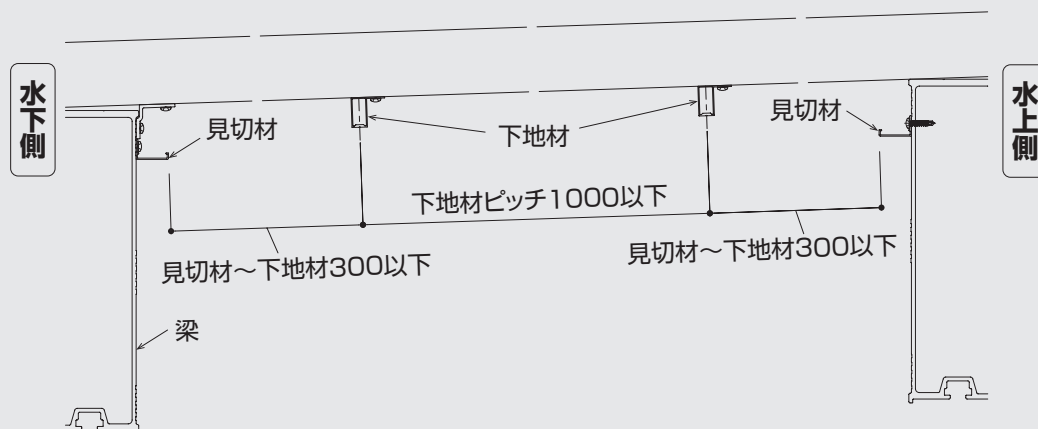
●鼻隠し190見付



下地材の取り付け

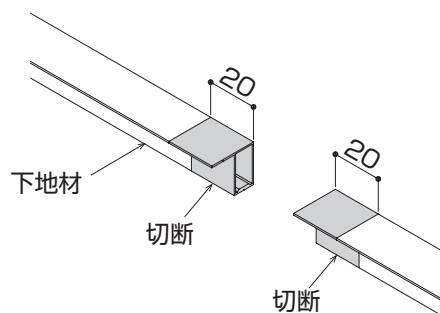


- ・ **下地材の取り付け位置を変更する場合** 取り付け条件を守ってください。



1 梁の連結がある場合

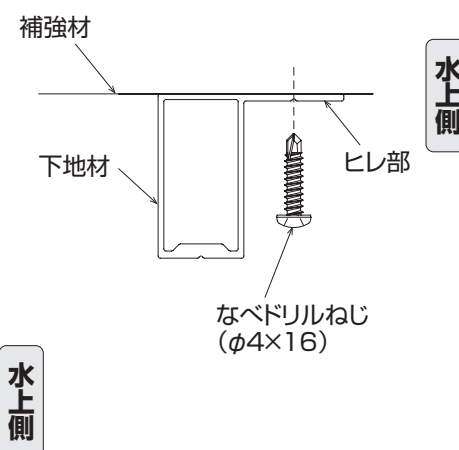
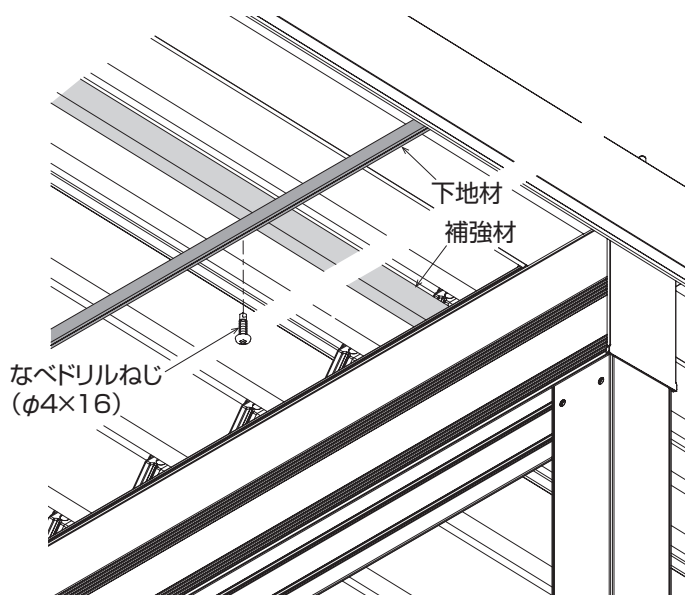
下地材の連結部を20mm切断してください。



2 補強材の加工穴にあわせて、下地材を補強材に取り付けてください。



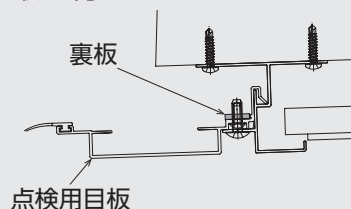
- ・ 下地材の左右のチリは、見切材と同じです。
- ・ **下地材とサイドパネル間柱の位置が重なる場合**
下地材の位置をずらして補強材に取り付けてください。



目板の取り付け



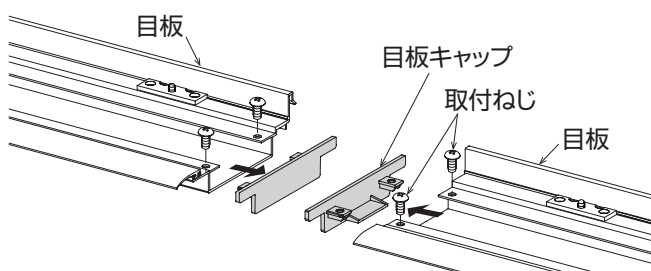
- 単体部分に対し両端側の目板は点検用、中間の目板は固定用です。
- 点検用目板にはヒレ部分に裏板が取り付けられています。



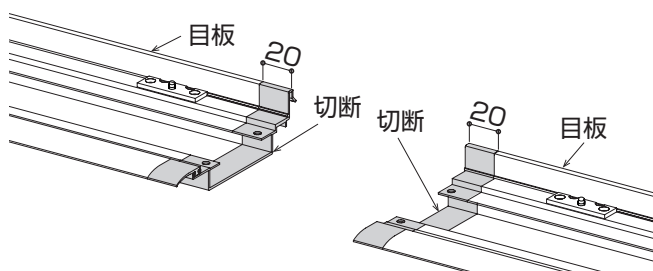
1 基本セット（3台用）以外で梁の連結がある場合

目板の連結部を20mm切断してください。

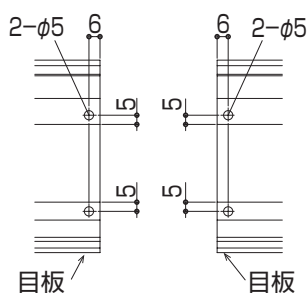
- ① 目板連結部の目板キャップをはずしてください。



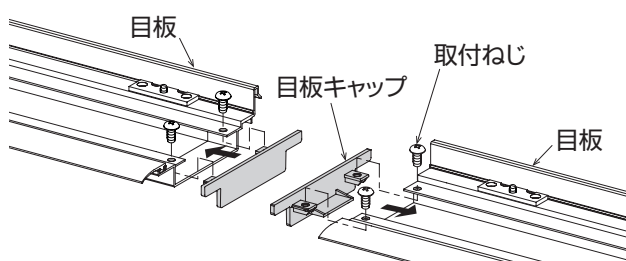
- ② 目板の連結部を20mm切断してください。



- ③ 目板の切断部に加工してください。



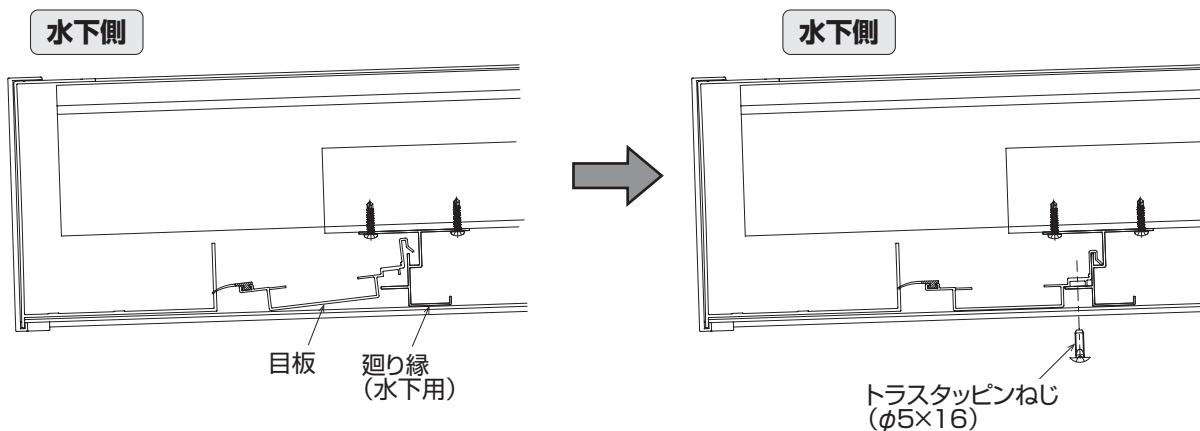
- ④ はずした目板キャップを目板連結部に取り付けてください。



- 2** 廻り縁（水下側）に目板を取り付けてください。
廻り縁1本に対し、目板を3箇所に取り付けてください。

基本セット（3 台用）の場合

- ① 廻り縁2本に対し、目板を3箇所に取り付けてください。

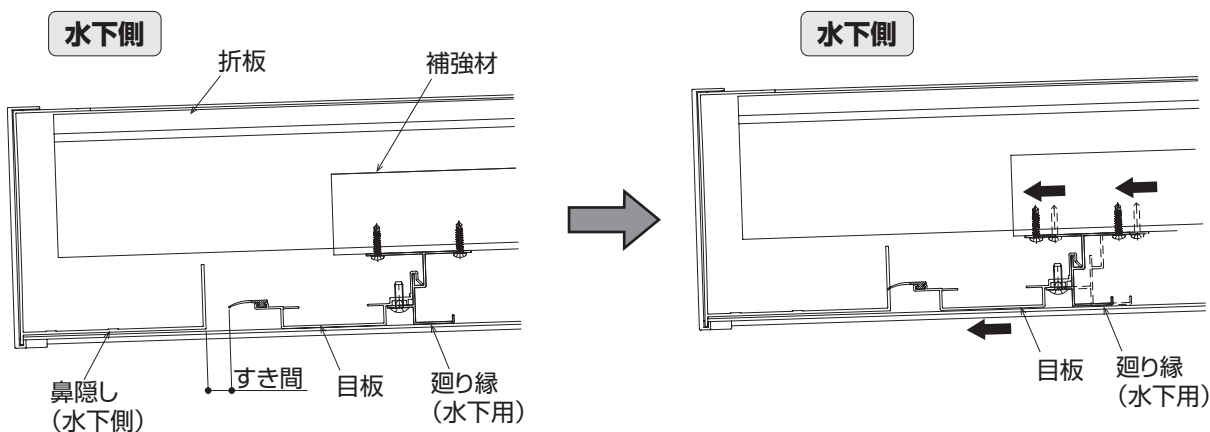


目板の取り付け（目板（すき間隠し）と鼻隠しの間にすき間が生じる場合）



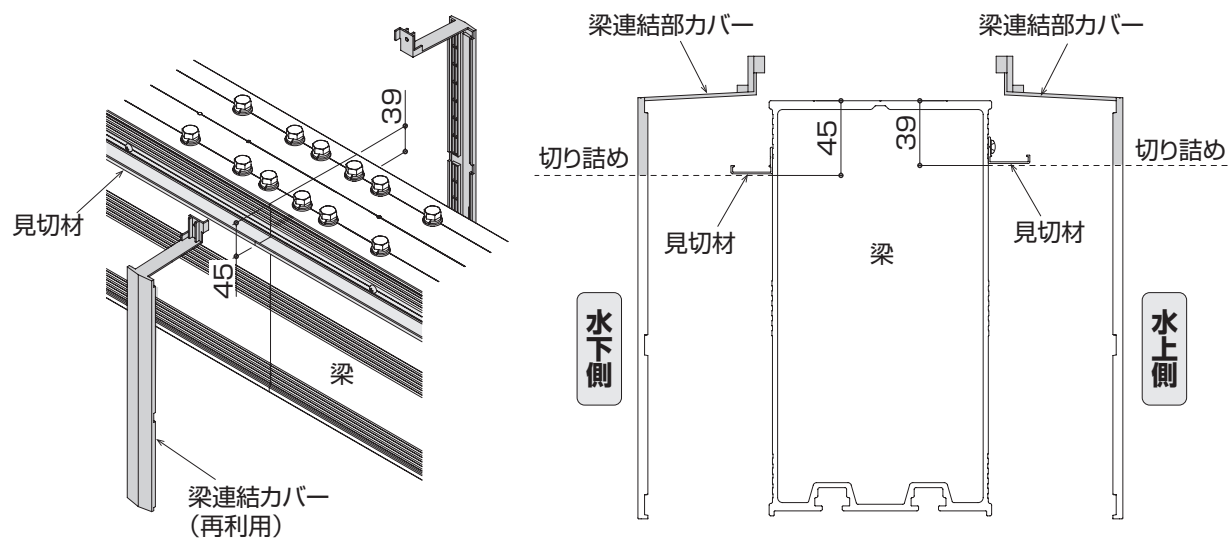
- 既設カーポートの仕様や施工誤差などが原因で目板（すき間隠し）と鼻隠しの間にすき間が生じて折板が見える場合があります。廻り縁（水下側）を現合で取り付け直してください。

- 1** 鼻隠しと目板のすき間を測定してください。
2 折板が見えなくなる位置に廻り縁（水下側）を現合で取り付け直してください。



梁連結カバーの取り付け（梁の連結がある場合）

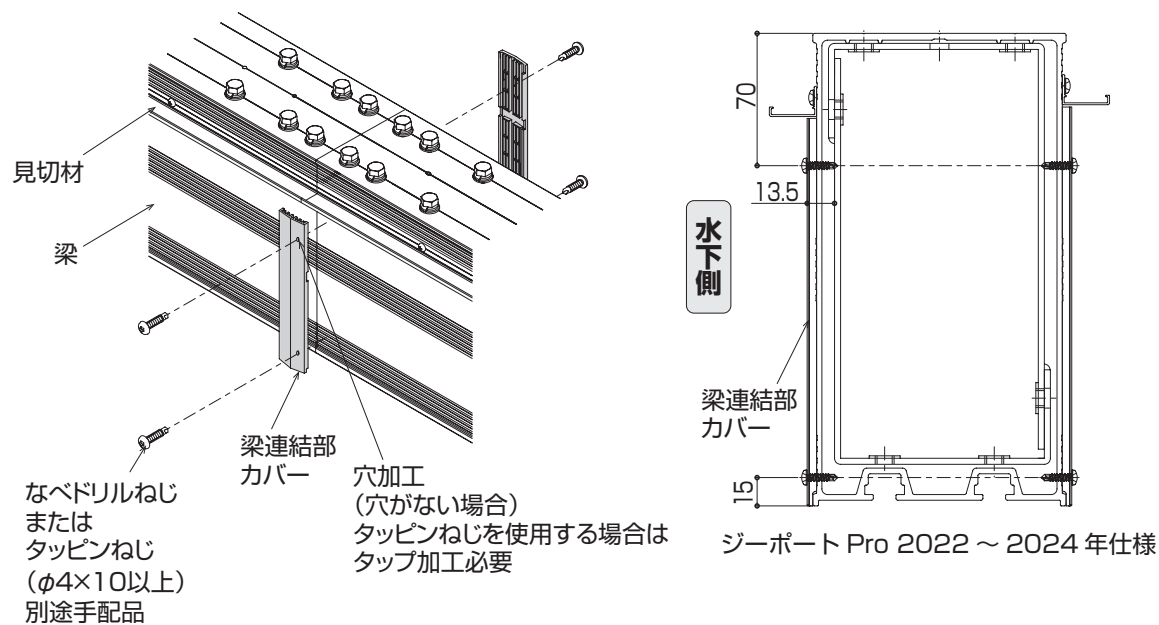
- 1** 梁連結カバーの上部を見切材と干渉しない長さに切り詰めてください。



2 梁連結カバーに取り付け穴がない場合

梁取り付け位置にあわせて梁連結カバーに穴加工してください。

- 3** 梁連結カバーを梁または梁連結金具に取り付けてください。

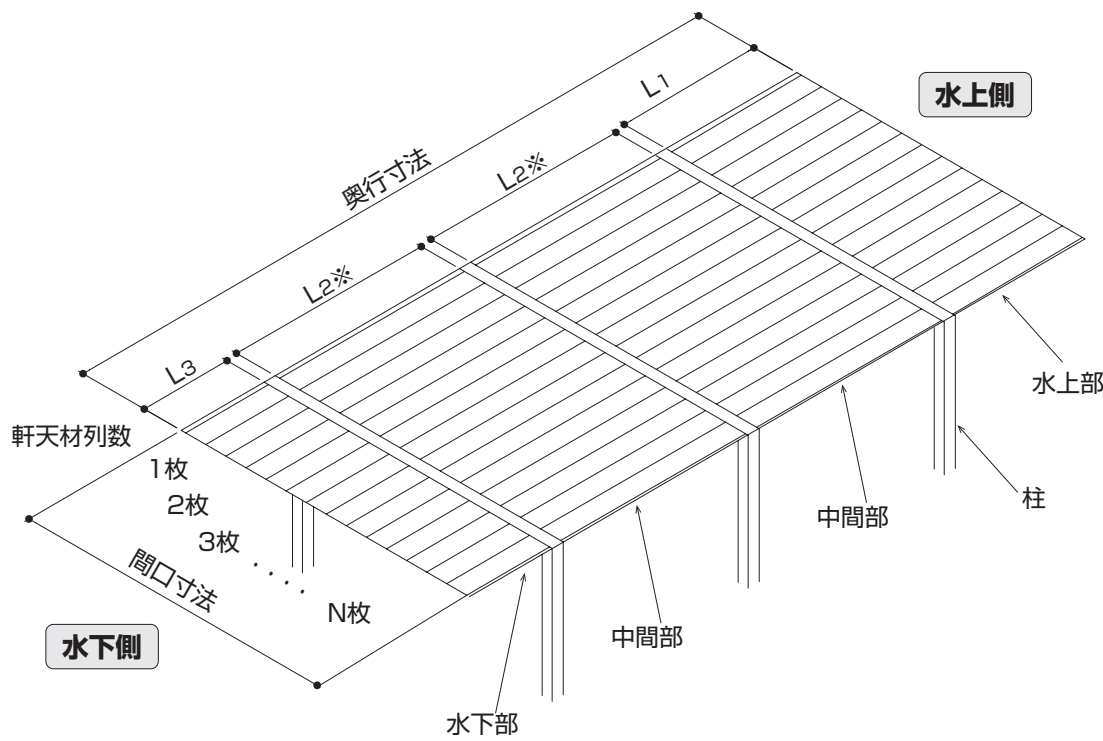


軒天パネルの施工

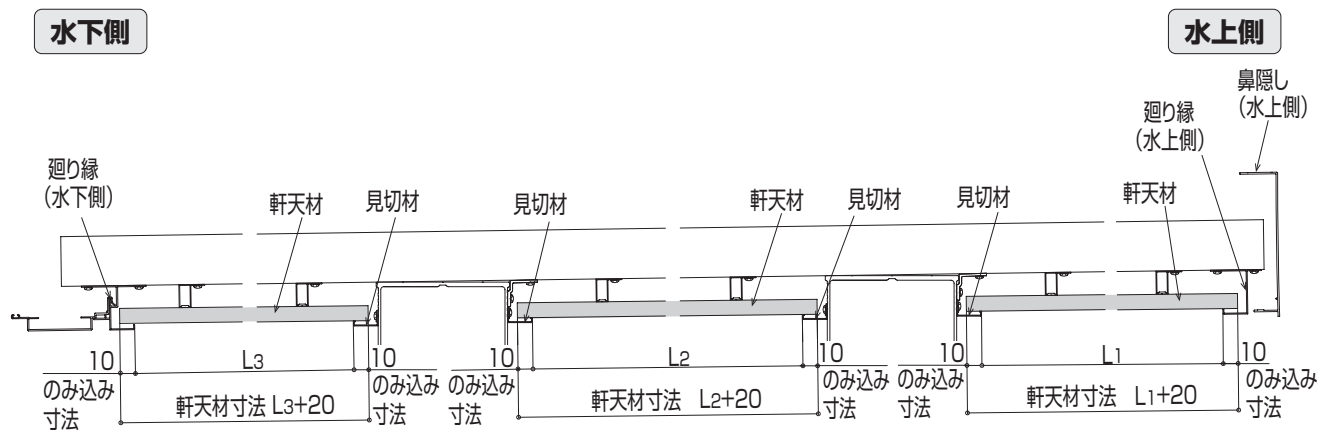
軒天材の切断

1 本体のL1～L3寸法を測定し、軒天材寸法を算出してください。

- 軒天材寸法：L寸法+20mm



※寸法（L2）が異なる場合があります。

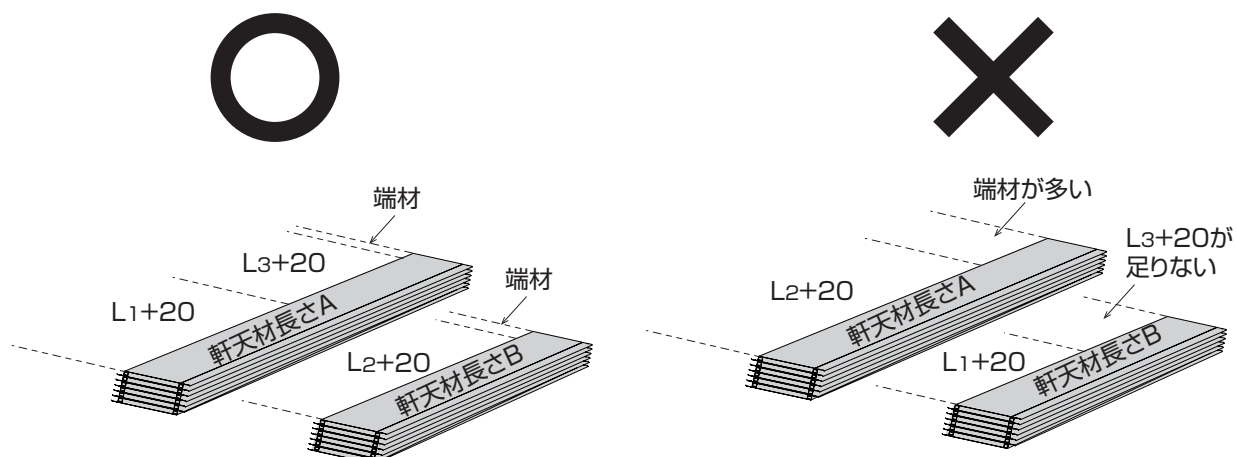


2 軒天材の長さから軒天材の必要寸法が切断できることを確認してください。

- 軒天材必要寸法 $L1+20\text{mm}$ 、 $L2+20\text{mm}$ 、 $L3+20\text{mm}$ （見切材内々+20）



- 手配品は1種および2種の長さの軒天材ユニットが納品されています。



3 軒天材を切断してください。



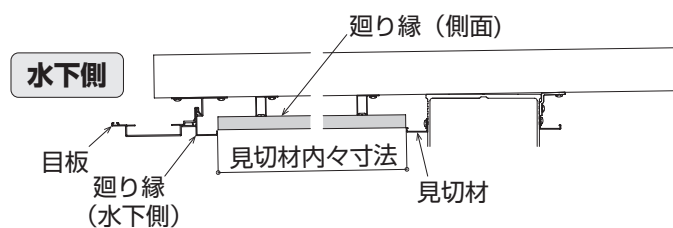
- 軒天材から切り粉を取り除いてください。さびの原因となります。

廻り縁（側面）の取り付け

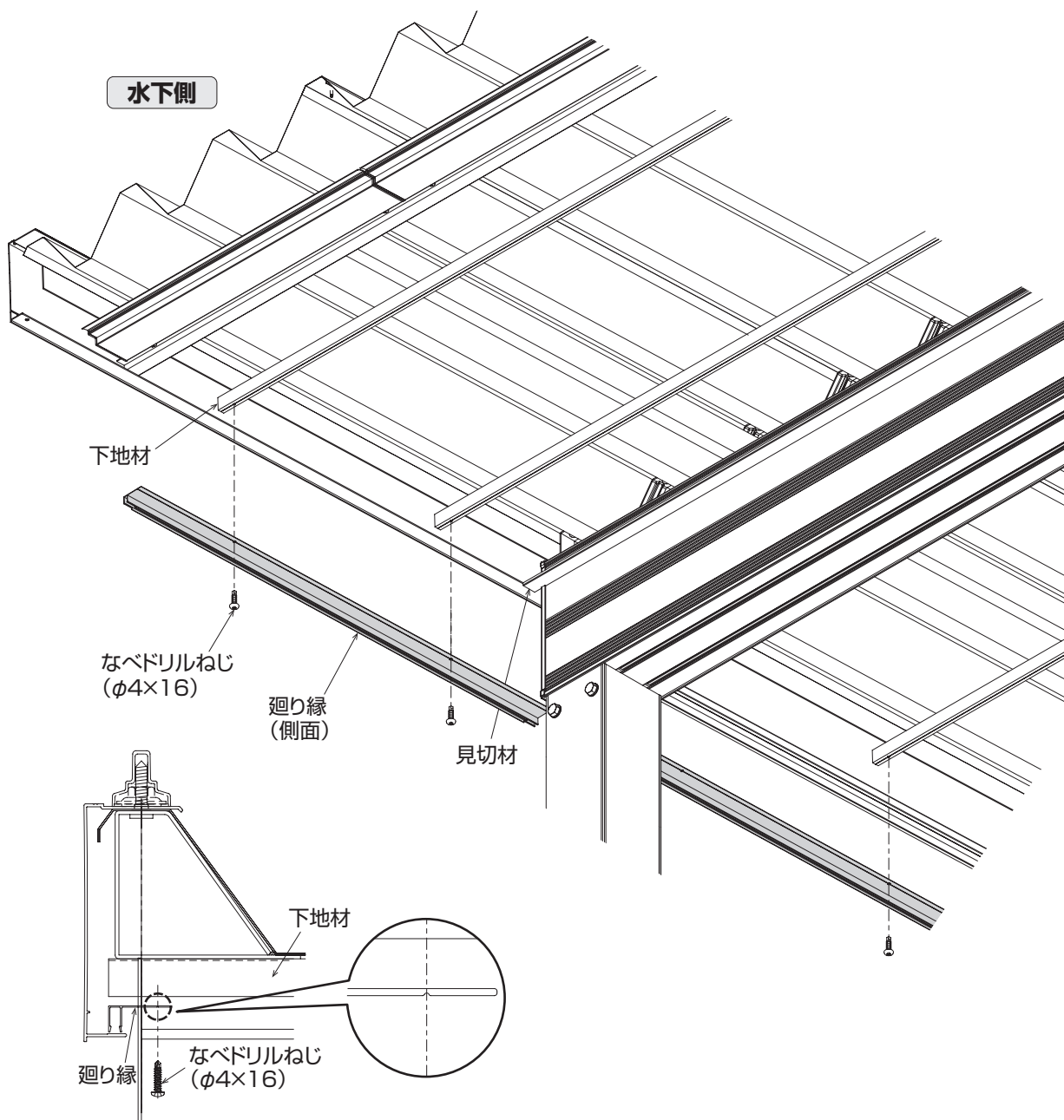
1 廻り縁（側面）が見切材内々寸法より長い場合

廻り縁（側面）を切断してください。

- 廻り縁（側面）切断寸法：見切材内々寸法－2mm



2 左右のチリをあわせて廻り縁（側面）を下地材に取り付けてください。

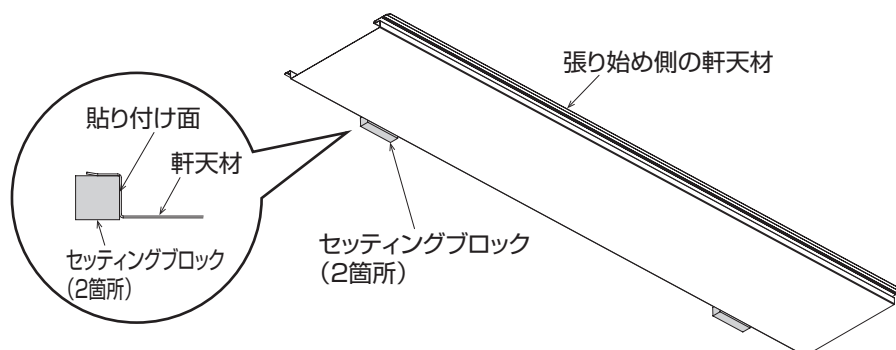


軒天材の取り付け

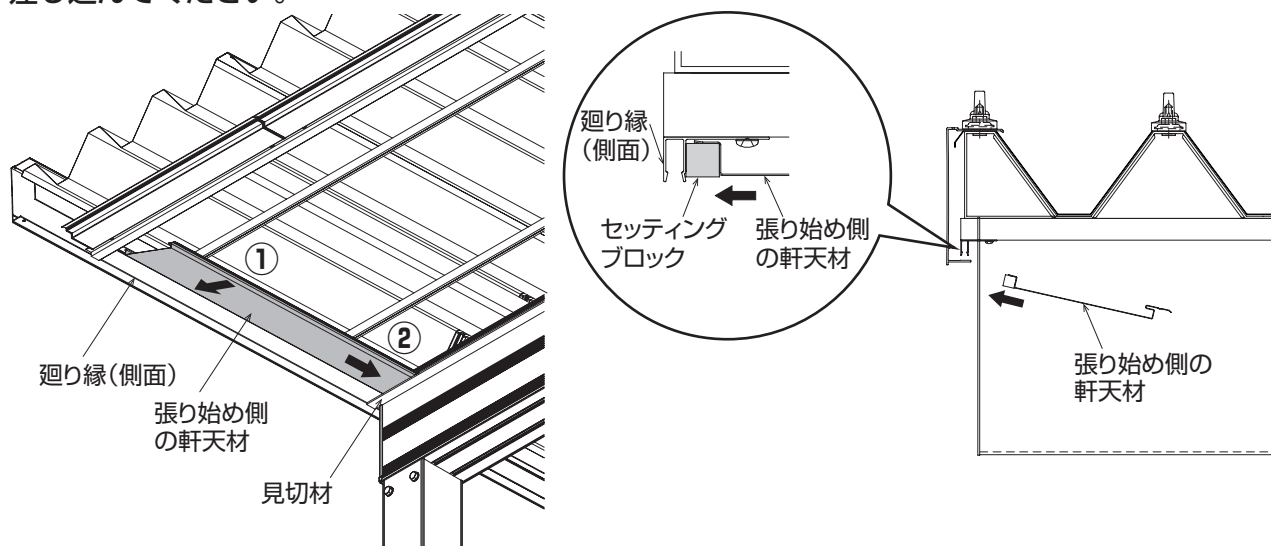


- 軒天材は、左右どちら側からでも取り付け可能です。

- 1** セッティングブロックをハクリ紙をはがし、張り始め側の軒天材に下地材と干渉しない位置（2箇所）に貼り付けてください。

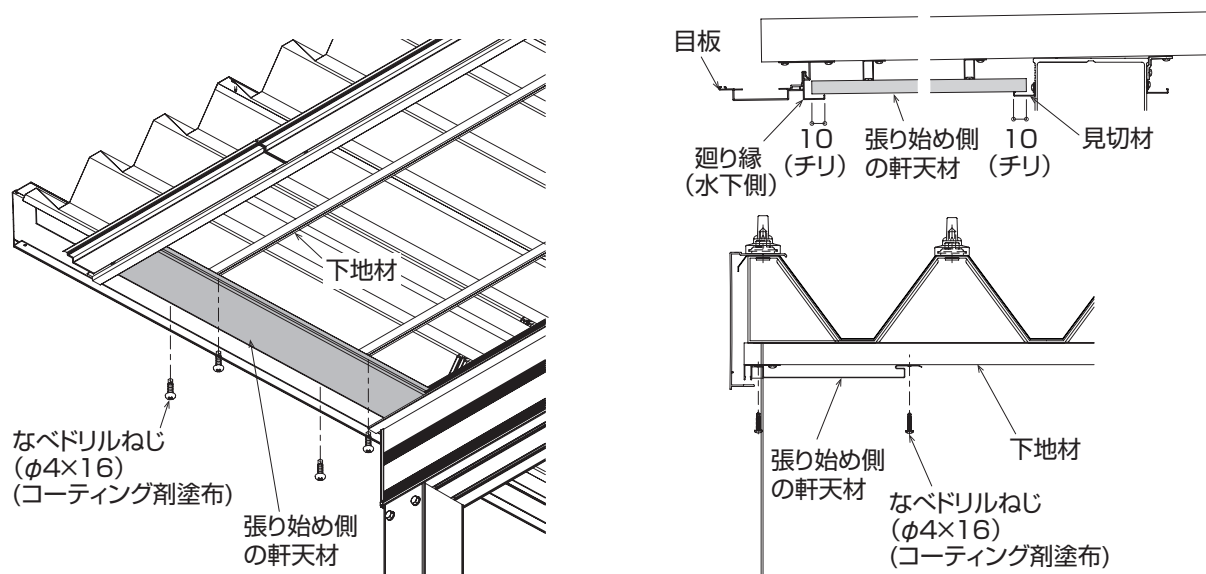


- 2** セッティングブロックを廻り縁（側面）に押し当て、張り始め側の軒天材を見切材と廻り縁に差し込んでください。



- 3** 張り始め側の軒天材を下地材に左右のチリをあわせて固定してください。

- 4** セッティングブロックがはずれた場合は、廃棄してください。



5 軒天材を順次取り付けてください。

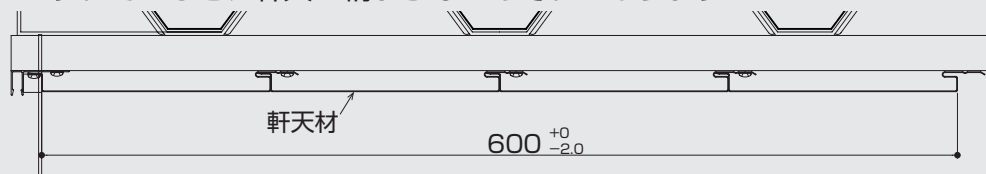
6 最後の軒天材が廻り縁（側面）に干渉する場合、軒天材の干渉部を切断して取り付けてください。



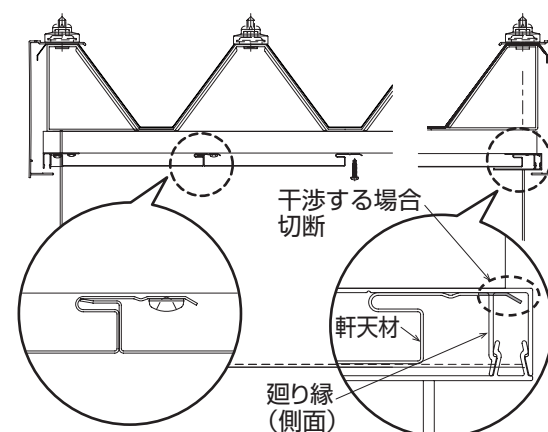
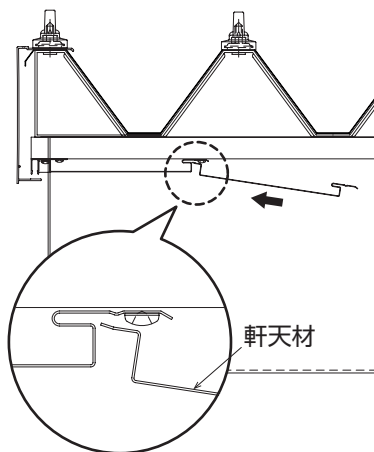
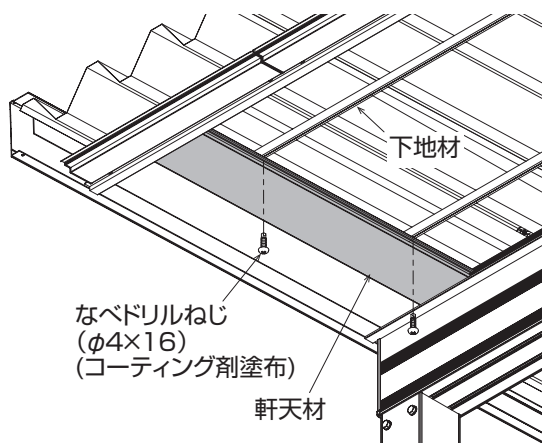
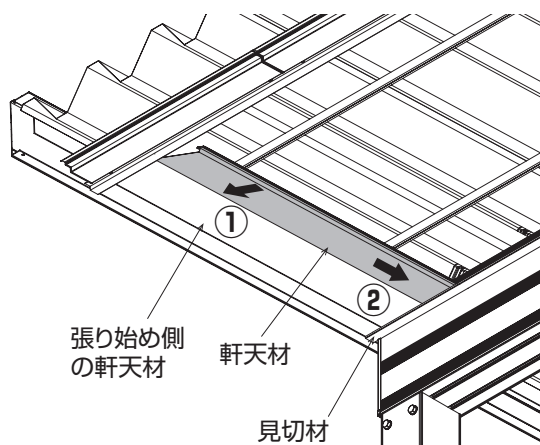
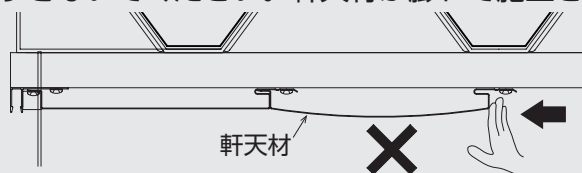
- 軒天材はすき間なく施工してください。
すき間があると軒天材がバタつき、強風時に干渉音が発生するおそれがあります。



- 4枚ごとに軒天材の施工誤差が、600mm（+0、-2.0mm）内であることを確認してください。
さらに間口連結の場合は、単体施工ごとに（+0、-15.0mm）内であることを確認してください。
寸法がはずれていると、軒天が納まらないおそれがあります



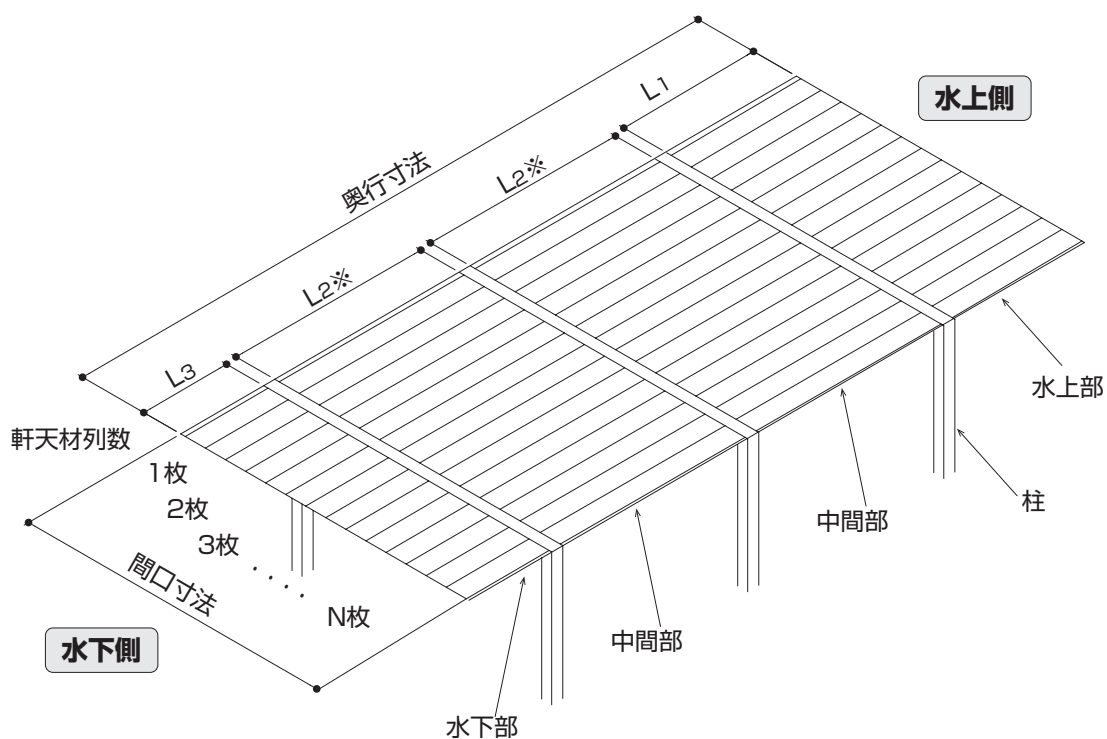
- 軒天材を押さえ付けすぎないでください。軒天材が膨れて施工されます。



カバーの切断

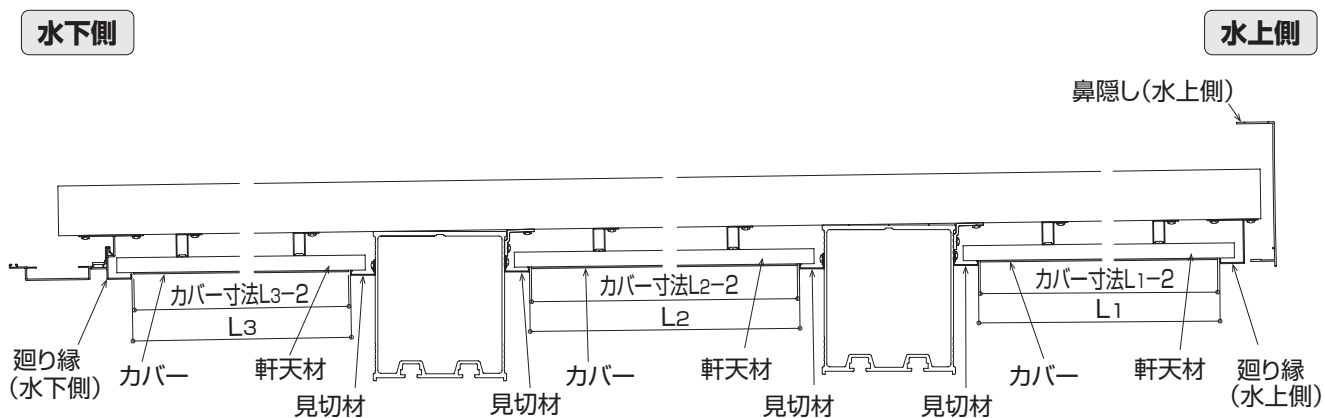
1 本体のL1～L3寸法を測定し、カバー寸法を算出してください。

- カバー寸法：L寸法－2mm



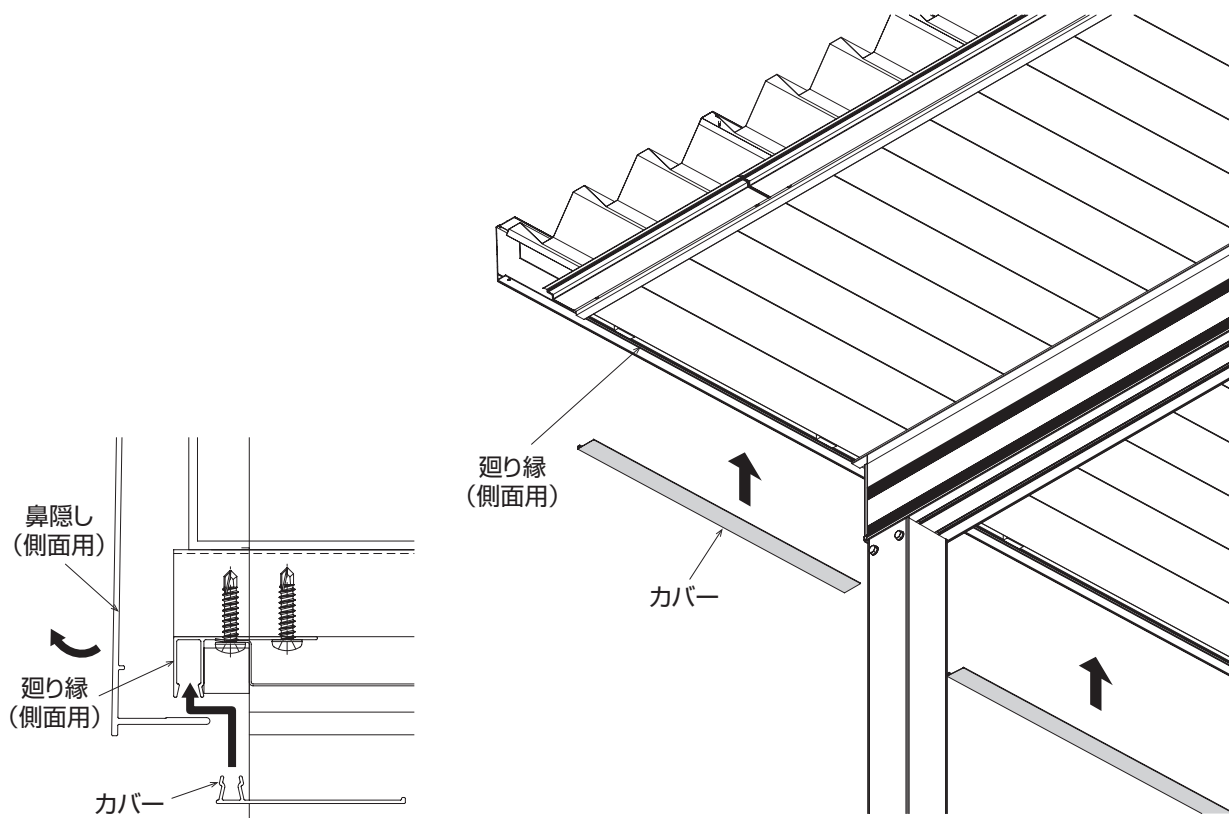
※寸法（L2）が異なる場合があります。

2 カバーを切断してください。

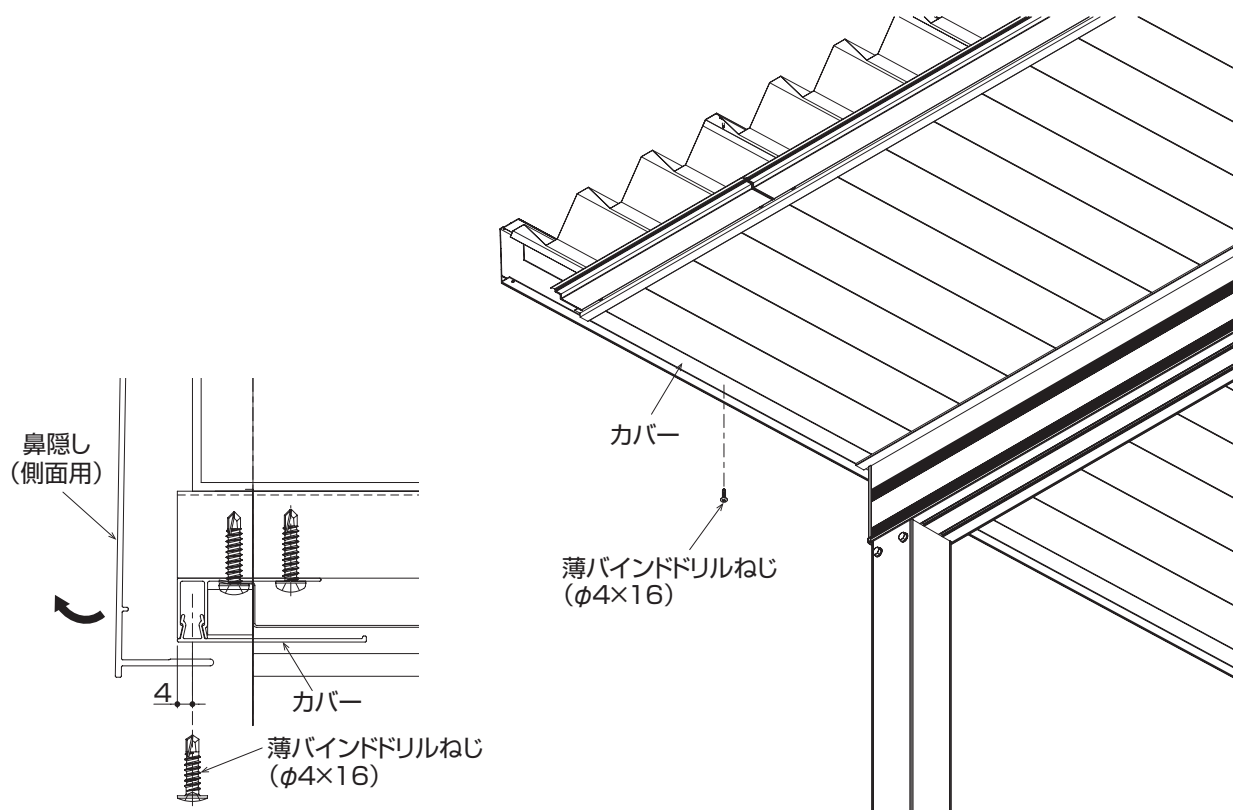


カバーの取り付け

1 鼻隠し（側面用）を外側に広げながら、カバーを廻り縁（側面用）に取り付けてください。



2 鼻隠し（側面用）を外側に広げながら、カバーをねじで固定してください。

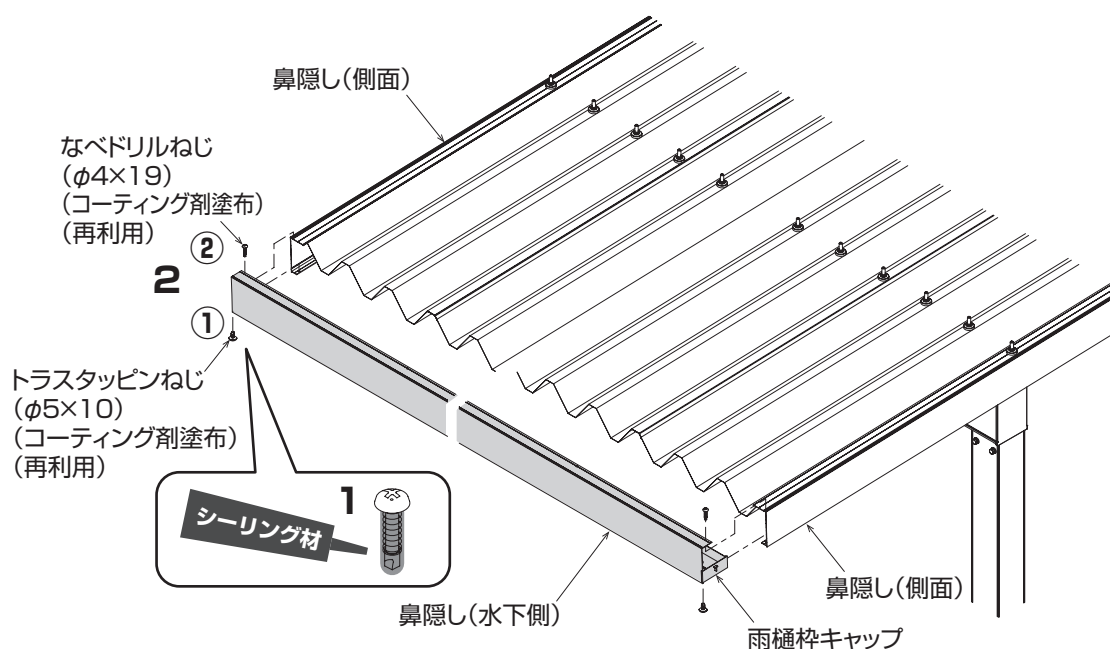
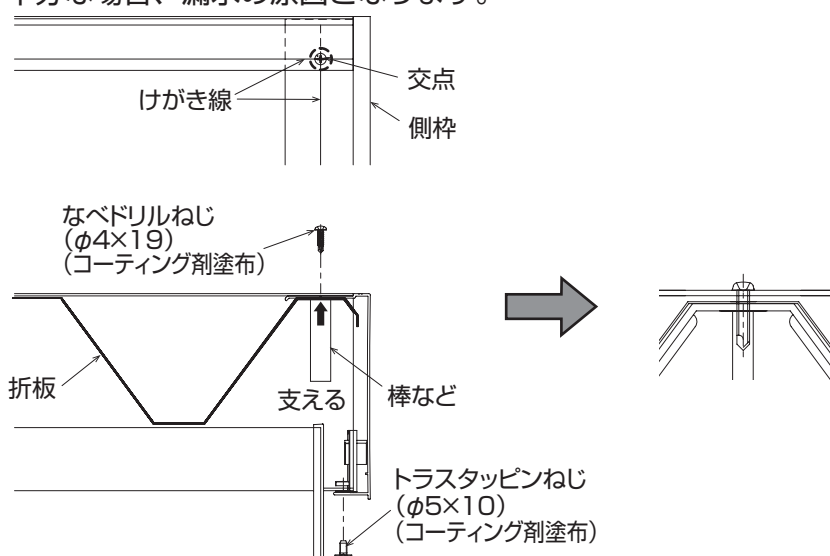


鼻隠しの取り付け（鼻隠しの取りはずしをした場合）

- 1 鼻隠し・折板連結ねじ（なべドリルねじ）のねじ部にシーリングしてください。
- 2 鼻隠し（水下側または水上側）を折板にかぶせ、鼻隠し（側面）と下面→上面の順に連結してください。

お願い

- ねじ固定位置は鼻隠しのけがき線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。
取り付けが不十分な場合、漏水の原因となります。

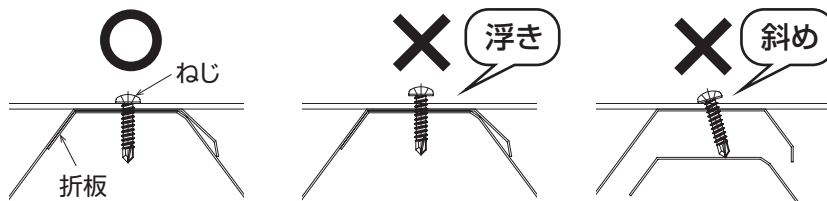


3 折板取付ねじ（なべドリルねじ）のねじ部にシーリングしてください。

4 鼻隠し（水下側または水上側）の穴にあわせ折板に取り付けてください。

お願い

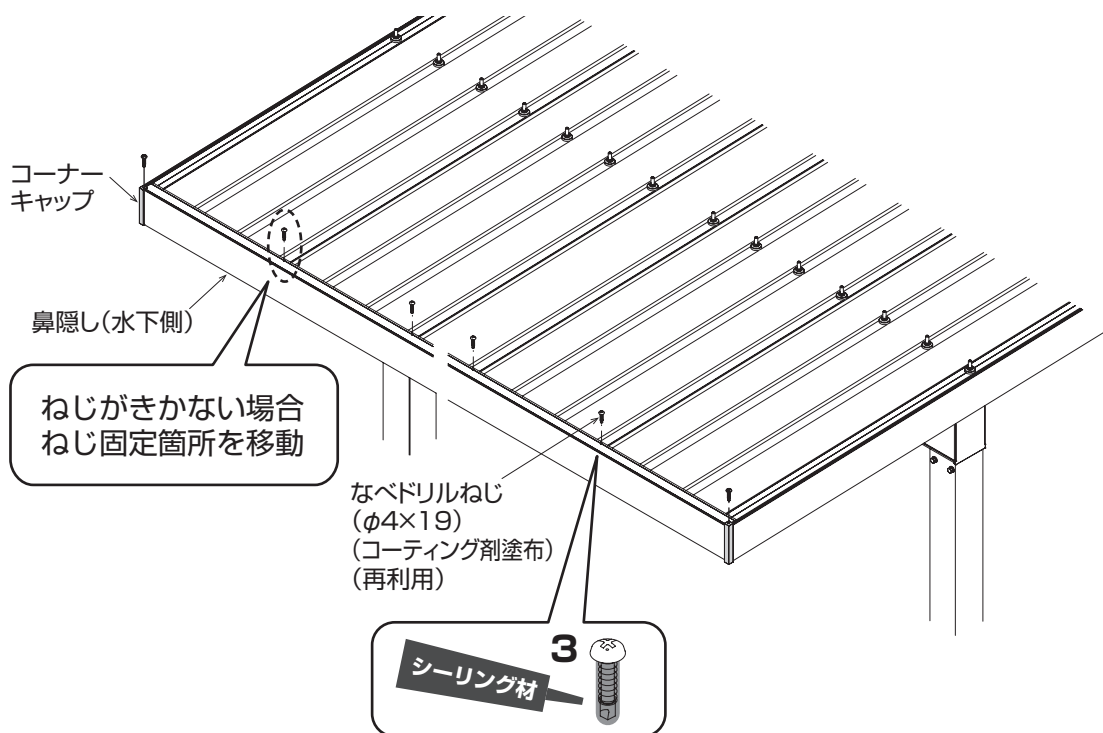
- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



折板取付ねじがきかない場合

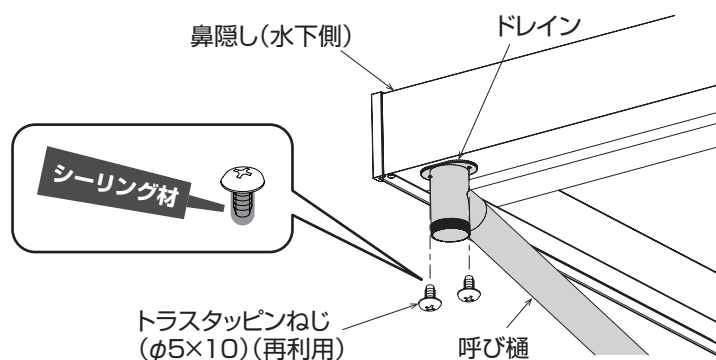
- ① 固定箇所を移動して鼻隠し（水下側）を折板に取り付けてください。
- ② 移動前の穴をシーリングで塞いでください。

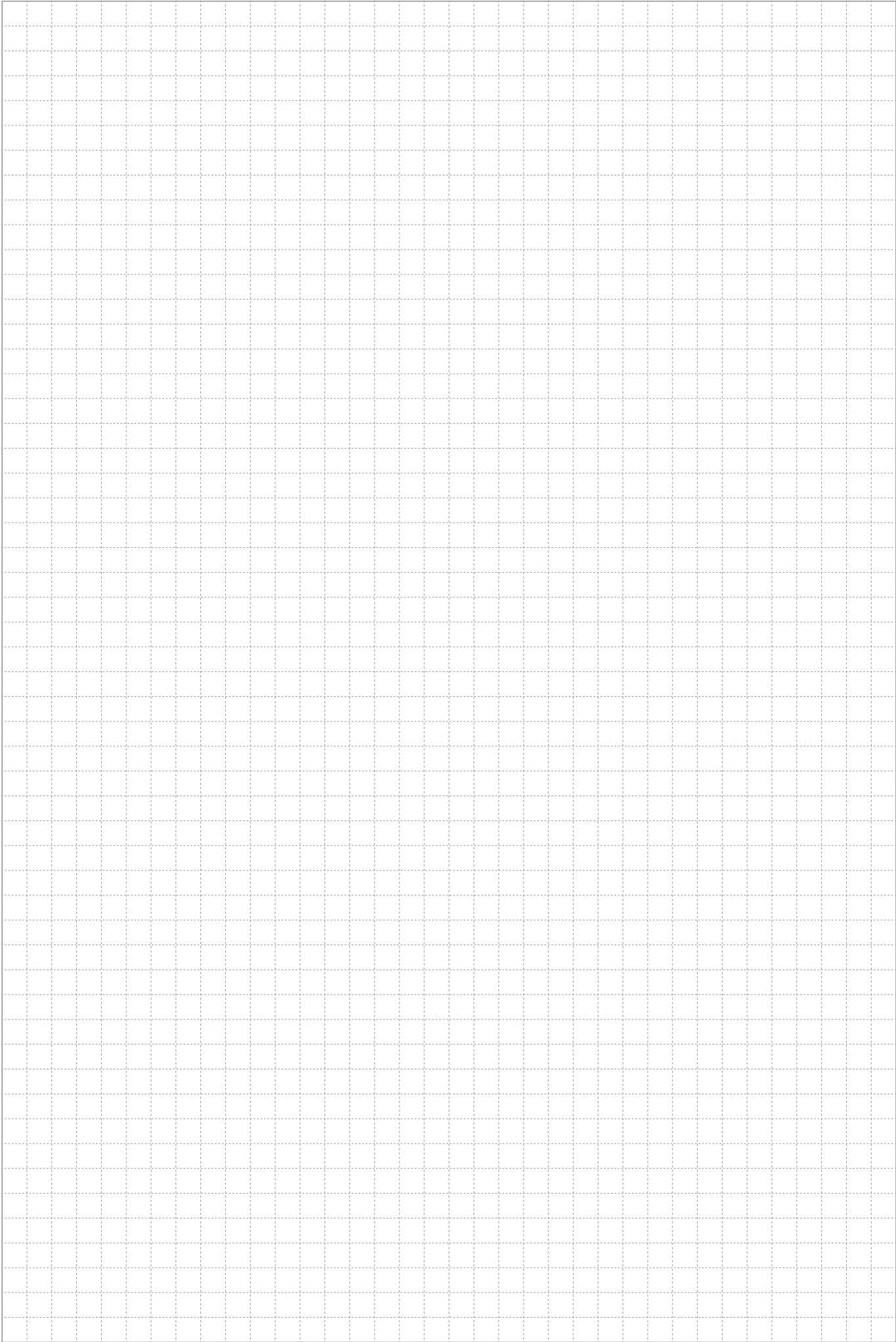
5 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、コーナーキャップを取り付けてください。

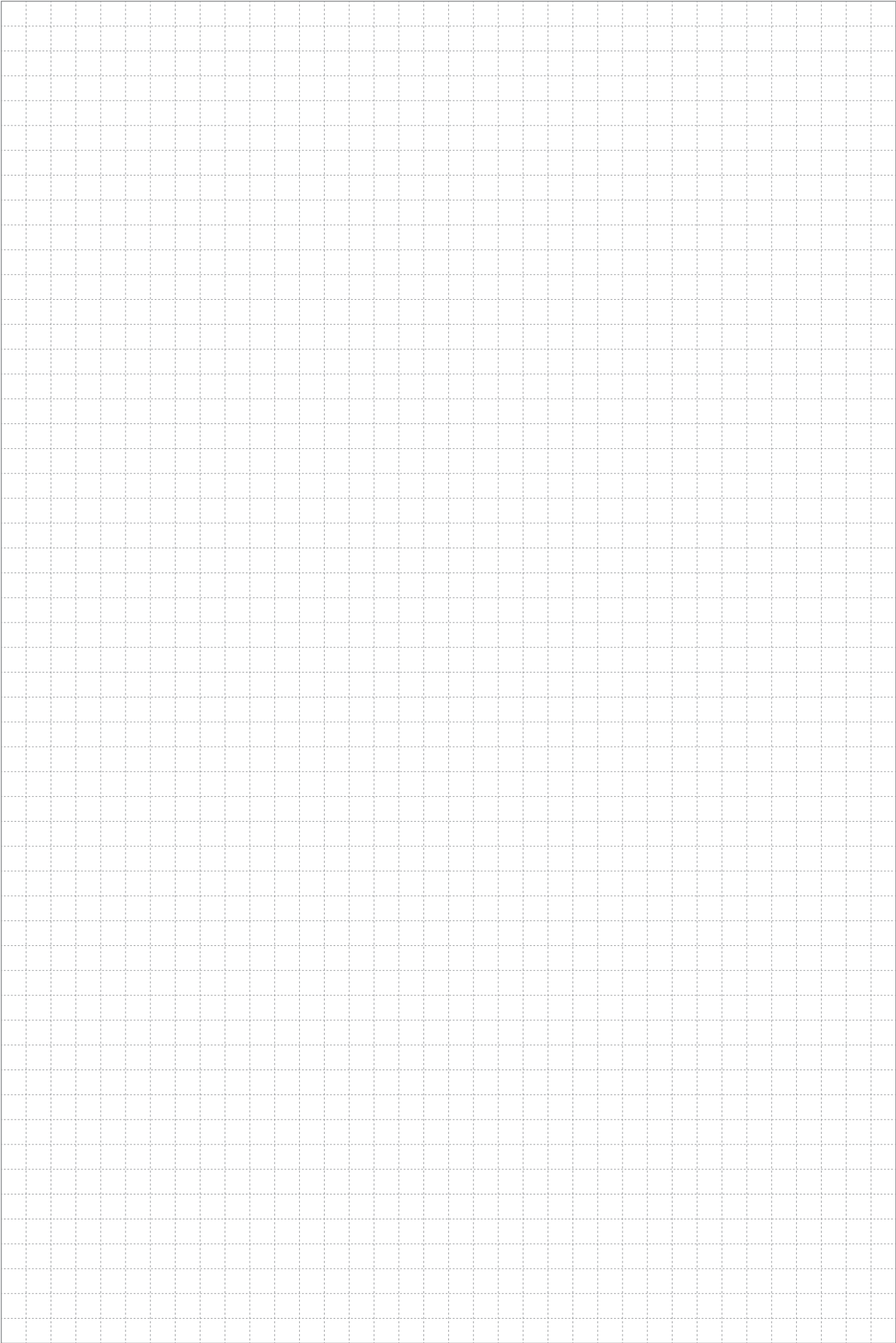


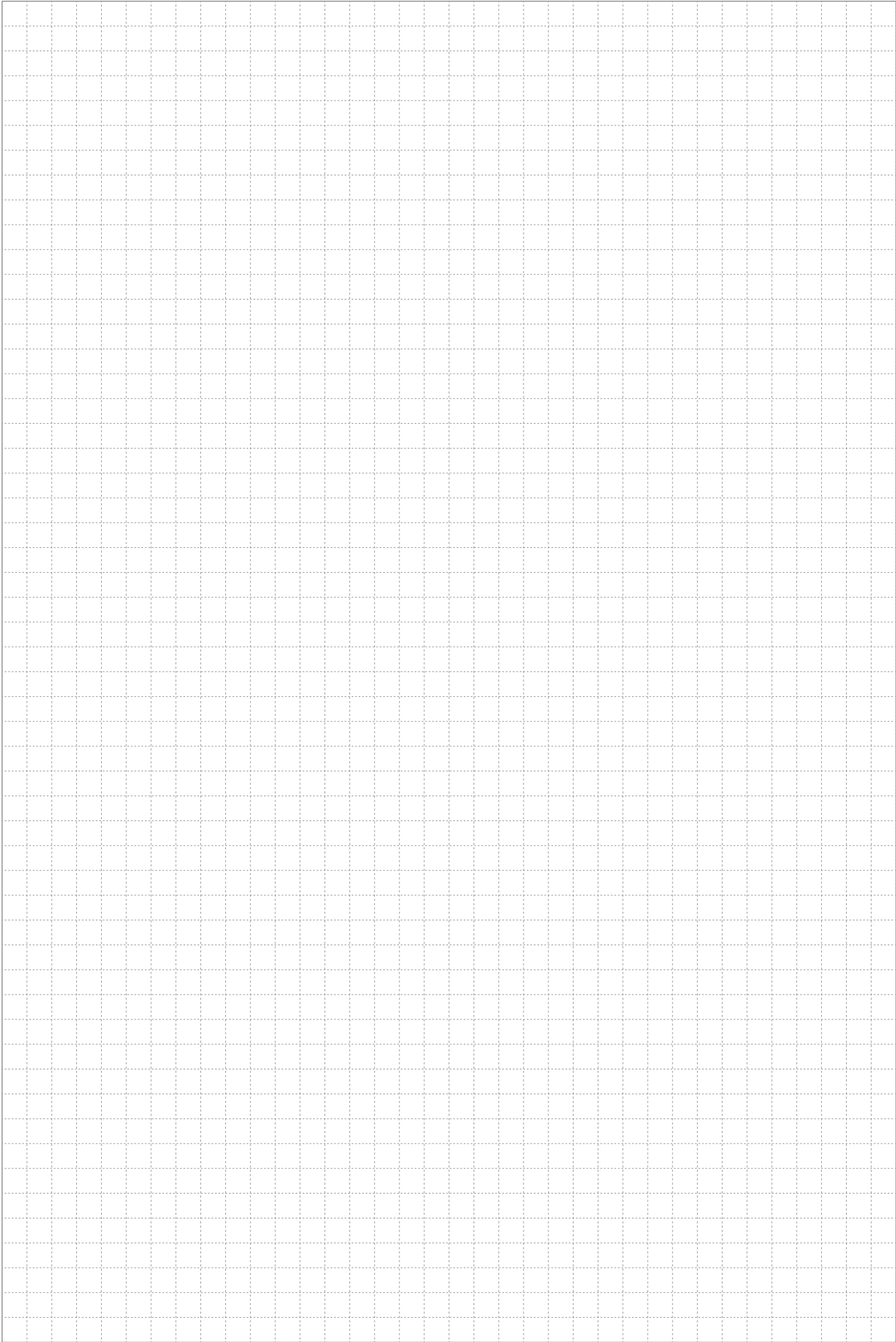
6 鼻隠し（水下側）の場合

- ① ド레인取付ねじ（トラスタッピンねじ）のねじ部にシーリングしてください。
- ② ド레인、呼び樋を鼻隠し（水下側）に取り付けてください。









お客様メモ

株式会社大仙

●表示内容は 2026 年 6 月現在のものです。

ホームページ www.ykkap.co.jp/